老年期認知症研究会

演題 • 演者一覧

2025(令和7)年10月25日現在

研究会名略記

[例] 第1回中央 → 第1回老年期痴呆研究会(中央)

| 略名 | 2008(平 | 成 20) 年 7 月開催分まで | 2008 (平成 20) 年 10 月開催分から | |
|------|----------|------------------|--------------------------|---------------|
| 中央 | 第 1~22 回 | 老年期痴呆研究会(中央) | 第 23 回~ | 老年期認知症研究会(中央) |
| 北海道 | 第 1~17 回 | 北海道老年期痴呆研究会 | 第 18 回~ | 北海道老年期認知症研究会 |
| 東北 | 第 1~17 回 | 東北老年期痴呆研究会 | 第 18 回~ | 東北老年期認知症研究会 |
| 中部 | 第 1~16 回 | 中部老年期痴呆研究会 | 第 17 回~ | 中部老年期認知症研究会 |
| 近畿 | 第 1~17 回 | 近畿老年期痴呆研究会 | 第 18 回~ | 近畿老年期認知症研究会 |
| 中・四国 | 第 1~16 回 | 中・四国老年期痴呆研究会 | 第 17 回~ | 中・四国老年期認知症研究会 |
| 九州 | 第 1~17 回 | 九州老年期痴呆研究会 | 第 18 回~ | 九州老年期認知症研究会 |

[※] 当研究会は平成 20 年 7 月の世話人会にて、「老年期痴呆研究会」から「老年期認知症研究会」に 名称を変更することが決定しました。

[※] 開催日順に掲載しています。

| 第1回中央 | 1987(昭和 62) | 年7月3日 経団連会館 |
|--------|---|--|
| 特別講演 1 | 「 痴呆の生化学的研究-最近の進歩」 大阪大学医学部神経精神科 教授 | 西村 健 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年期痴呆の病態」 浴風会病院 院長 | 大友 英一 先生 |
| 特別講演3 | Changing Concepts of Dementia Professor of Neurology, Director, Stroke and Aging Research The John P.Robarts Research Institute, University Hospital, University of Western Ontario Vladimir Hachinski, M.D. | , .,F.R.C.P.(C), D.Sc(Med). |
| 第1回近畿 | 1987(昭和 62)年7月 | 4 日 ロイヤル NCB 会館 |
| 特別講演1 | 「 痴呆における神経伝達物質異常」 京都大学医学部神経内科 助教授 | 中村 重信 先生 |
| 特別講演 2 | 「形態学的立場からみた Alzheimer 病の病像変遷」 横浜市立大学医学部精神科 教授 | 松下 正明 先生 |
| 特別講演 3 | Changing Concepts of Dementia Professor of Neurology, Director, Stroke and Aging Research The John P.Robarts Research Institute, University Hospital, University of Western Ontario Vladimir Hachinski, M.D. | , .,F.R.C.P.(C), D.Sc(Med). |
| 第1回九州 | 1987(昭和 62)年 | - 7月7日 博多都ホテル - 17月7日 - 11111111111111111111111111111111111 |
| 特別講演 1 | 「アルツハイマー型痴呆とアミロイド」 | |
| 演題 1 | 「脳内アミロイドの病理」 国立肥前療養所情動行動障害センター | 佐藤 雄二 先生 |
| 演題 2 | 「 アミロイドの分子生物学的研究の動向」 九州大学理学部化学教室 | 中原 辰雄 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年期痴呆の脳循環代謝」 日本医科大学第二内科 教授 | 赫 彰郎 先生 |
| 第1回北海道 | 1987(昭和 62)年 10月 23日 ホ | テルニューオータニ札幌 |
| 演題 1 | 「北海道における 老年期痴呆性疾患の実態ならびに追跡調査について」 旭川医科大学精神科神経科 助教授 | 高橋 三郎 先生 |
| 演題 2 | 「老年痴呆の病理学的背景」 | |
| | 札幌医科大学神経精神科 講師 | 深津 亮 先生 |

| 第1回東北 | 1987(昭和 62)年11月24日 江 | 陽グランドホテル |
|--------|--|-----------|
| 演題 | 「 老年期痴呆一臨床医の立場から一」 国立療養所宮城病院 院長 | 笹生 俊一 先生 |
| 特別講演 | 「 老年期痴呆の疫学」 東京都老人総合研究所 副所長 | 柄澤 昭秀 先生 |
| 第1回中部 | 1987(昭和 62)年 11月 26日 ホテル | ナゴヤキャッスル |
| 演題 1 | 「病理解剖から見た老年期痴呆」 名古屋大学医学部病理学第一講座 助教授 | 橋詰 良夫 先生 |
| 演題 2 | 「 大脳生理からみた知能と記憶」 浜松医科大学脳神経外科 教授 | 植村 研一 先生 |
| 特別講演 | 「老年期痴呆の評価と診断」 聖マリアンナ医科大学神経精神科 教授 | 長谷川 和夫 先生 |
| 第1回中•四 | 国 1988(昭和 63)年 6 月 18 日 | 高松国際ホテル |
| 演題1 | 「 健常者の脳循環に与える社会的環境因子の検討」 島根医科大学第三内科 講師 | 小林 祥泰 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆モデル動物作成の現況」 高知医科大学神経精神科 教授 | 池田 久男 先生 |
| 特別講演 | 「高齢者の神経の診かた」 東京都老人医療センター 院長・東京大学 名誉教授 | 豊倉 康夫 先生 |
| 第2回九州 | 1988(昭和 63)年7月9 | 日 博多都ホテル |
| 演題 1 | 「 痴呆と脳内アミロイド物質」 九州大学医学部附属脳神経病研究施設病理部門 講師 | 北本 哲之 先生 |
| 演題 2 | 「脳血管障害と感情障害」 宮崎医科大学精神科 助教授 | 三山 吉夫 先生 |
| 特別講演 | 「 痴呆研究における実験動物モデル」 兵庫医科大学精神神経科 教授 | 三好 功峰 先生 |

| 第2回中央 | 1988(昭和63)年7月23日 経団連会館 |
|--------|---|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病の視覚情報処理過程の解析」 札幌医科大学神経精神科 藤井 充 先生 |
| 演題 2 | 「脳血管性痴呆の治療薬開発の試み」 東北大学医学部神経内科 教授 小暮 久也 先生 |
| 演題 3 | 「コリン作動神経系中枢破壊の 局所脳循環代謝及び行動様式に及ぼす影響」 慶應義塾大学医学部神経内科 高嶋 修太郎 先生 |
| 演題 4 | 「 痴呆-局所脳循環からのアプローチ」 北里大学医学部内科 講師 坂井 文彦 先生 |
| 演題 5 | 「 老年期痴呆の生化学」 名古屋大学医学部第一生化学 教授 永津 俊治 先生 |
| 演題 6 | 「 老年期痴呆における細胞骨格蛋白の変化」 大阪大学医学部神経精神科 武田 雅俊 先生 |
| 演題 7 | 「脳血管性痴呆のリスクファクターに関する検討」 高知医科大学老年病学 松林 公蔵 先生 |
| 演題 8 | 「脳循環制御と知的機能の関連」 鹿児島大学医学部第三内科 助教授 丸山 征郎 先生 |
| 特別講演 | 「老年期痴呆の評価」 聖マリアンナ医科大学神経精神科 教授 長谷川 和夫 先生 |
| 第2回近畿 | 1988(昭和 63)年7月26日 ロイヤル NCB 会館 |
| 特別講演1 | 「 老年期痴呆の臨床と病理」 兵庫医科大学精神神経科 教授 三好 功峰 先生 |
| 特別講演 2 | 「老年期痴呆の疫学」 東京都老人総合研究所 副所長 柄澤 昭秀 先生 |
| 特別講演3 | 「記憶の機能局在」 日本大学医学部第一生理学 教授 酒田 英夫 先生 |
| | 1988(昭和 63)年 11 月 5 日 ホテルニューオータニ札幌 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病の視覚認知障害 |
| | ーVision analizer による解析」 札幌医科大学神経精神科 藤井 充 先生 |
| 演題 2 | 「脳の画像診断-特に老年期の患者について」 北海道大学医学部放射線科 助教授 宮坂 和男 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病の病態」 横浜市立大学医学部精神科 教授 松下 正明 先生 |
| 特別講演 2 | 「老いと若さ」 老年期痴呆研究会 会長・慶應義塾大学 名誉教授 相澤 豊三 先生 |

| 第2回東北 | 1988(昭和 63)年 11 月 | 月 19 日 艮陵会館 |
|---|--|--------------------|
| 演題 1 | 「秋田県における痴呆性老人に関する疫学調査」 秋田県立脳血管研究センター疫学研究部 部長 | 鈴木 一夫 先生 |
| 演題 2 | 「老年期痴呆の画像診断」 東北大学サイクロトロン・RI センター サイクロトロン核医学研究部 助教授 | 伊藤 正敏 先生 |
| 特別講演1 | 「Alzheimer 型 痴呆に関する最近の知見」 群馬大学医学部神経内科 教授 | 平井 俊策 先生 |
| 特別講演 2 | 「老いと若さ」 老年期痴呆研究会 会長・慶應義塾大学 名誉教授 | 相澤 豊三 先生 |
| 第2回中部 | 1988(昭和 63)年 11 月 26 日 ホテル | ナゴヤキャッスル |
| 演題 | 「正常圧水頭症」 名古屋市立大学医学部脳神経外科 教授 | 永井 肇 先生 |
| 特別講演 1 | 「北海道における老年期痴呆に関する実態調査結果」 慈啓会病院 院長 | 浦澤 喜一 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年痴呆研究の最近の進歩」 順天堂大学医学部精神科 教授 | 飯塚 禮二 先生 |
| 第 2 回中・四 | 国 1989(平成 1)年 5 月 20 日 | 岡山東急ホテル |
| | <u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u> | NA PROPERTY OF THE |
| | 鳥取大学医学部神経内科 教授 | 高橋 和郎 先生 |
| 演題 2 | 「脳機能障害治療薬の薬効薬理と分類」 岡山大学医学部脳代謝研究施設 助教授 | 小川 紀雄 先生 |
| 演題 3 | 「島根県における解剖調査から」 島根医科大学精神科・神経科 教授 | 石野 博志 先生 |
| 特別講演 | 「 老年期痴呆の臨床的病態」 国立療養所菊池病院 院長 | 室伏 君士 先生 |
| 第3回九州 | 1989(平成 1)年 6月 24 | 日 博多都ホテル |
| 演題 | 「 一次性変性痴呆のポジトロン CT」 九州大学医学部精神科神経科 | 一宮 厚 先生 |
| 特別講演1 | 「痴呆と免疫」 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第六部 部長 | 田平 武 先生 |
| 特別講演 2 | 「 痴呆および痴呆研究における問題点」 元鳥取大学・東京慈恵会医科大学精神科 教授 | 新福 尚武 先生 |
| 第3回近畿 | 1989(平成 1)年 7 月 15 日 に | ロイヤル NCB 会館 |
| 特別講演1 | 「 痴呆の PET」 京都大学医学部神経内科 | 福山 秀直 先生 |
| 特別講演 2 | 「 痴呆と脳循環代謝」 国立循環器病センター内科脳血管部門 部長 | 澤田 徹 先生 |
| 特別講演3 | 「動物実験でみる学習と記憶」 群馬大学医学部附属行動医学研究施設行動分析学 教授 | 田所 作太郎 先生 |
| 特別講演 4 | 「痴呆と免疫」 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第六部 部長 | 田平 武 先生 |

| 第3回中央 | 1989(平成 1)年7月 | 29 日 | 経団連 | 三会館 |
|--------|--|------|------|-----|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病とモノクローナル抗体」 札幌医科大学神経精神科 助教授 | 深 | 聿 亮 | 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病における脳内免疫機構の変化 一免疫組織化学による形態学的観察」 福島県立医科大学神経精神科 | 板均 | 亘 茂 | 先生 |
| 演題 3 | 「 老化とフリーラジカル」 順天堂大学医学部神経内科 教授 | 水 | 野 美邦 | 先生 |
| 演題 4 | 「 ピック病の脳循環代謝」 日本医科大学第二内科 | 北村 | 吋 伸 | 先生 |
| 演題 5 | 「 痴呆の神経心理学ー特に言語障害を中心に」 金沢医科大学神経精神科 教授 | 鳥月 | 居 方策 | 先生 |
| 演題 6 | 「アルツハイマー病におけるアミロイド β 蛋白遺伝子の発現」 京都大学医学部神経内科 | 田口 | 中 静吾 | 先生 |
| 演題 7 | 「山 陰地方における老年期痴呆の疫学的検討」 鳥取大学医学部神経内科 教授 | 高 | 喬 和郎 | 先生 |
| 演題 8 | 「 久山町における痴呆の疫学」 九州大学医療技術短期大学部 教授 | 上日 | 田 一雄 | 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病と関連疾患の病理」 東京大学医学部附属脳研究施設脳病理学部門 教授 | 朝 | 長 正徳 | 先生 |
| 第3回東北 | 1989(平成 1)年 11 月 4 日 | 秋田 | ビューオ | テル |
| 演題 1 | 「一過性全健忘の臨床的検討」 秋田県立脳血管研究センター神経内科学研究部 部長 | 平日 | 田温 | 先生 |
| 特別講演1 | 「海馬長期増強と記憶」 山形大学医学部生理学第二 教授 | 加丽 | 篆 宏司 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「高齢者にみられる神経障害 ーことに特異な歩行障害例について」 国立精神・神経センター 総長 | 里吉 | 営二郎 | 先生 |
| 第3回北海道 | 1989(平成 1)年 11 月 11 日 ホテル | ニュー> | オータニ | -札幌 |
| 演題 1 | 「 家族性アルツハイマー病の 1 剖検例」 北海道大学医学部神経内科 | 佐々え | 木 秀直 | 先生 |
| 演題 2 | 「クロイツフェルト・ヤコブ病の3症例」 北海道大学医学部精神科神経科 講師 | 角 | 哲雄 | 先生 |
| 追加発言 | 「クロイツフェルト・ヤコブ病の 2 例」 市立札幌病院神経内科 | 川嶋 | 乃里子 | 先生 |
| 演題 3 | 「老年期痴呆性疾患の疫学ー北海道における2年後の追跡調査」 北海道立向陽ヶ丘病院 院長 | 高 | 喬 三郎 | 先生 |
| 特別講演 | 「実地臨床に役立つ記憶と知能の大脳生理学」 浜松医科大学脳神経外科 教授 | 植木 | 讨 研一 | 先生 |

| 第3回中部 | 1989(平成 1)年 11月 25日 ホテル | ナゴヤキャッスル |
|--------|--|----------------------------------|
| 演題 | 「 痴呆の神経心理学ー痴呆の概念と記憶障害をめぐって」 名古屋市立大学医学部精神科 教授 | 濱中 淑彦 先生 |
| パネルディス | カッション 「 痴呆の治療とケアのポイント」 群馬大学医学部神経内科 教授 国立療養所菊池病院 院長 名古屋市厚生院内科 部長 | 平井 俊策 先生 室伏 君士 先生 稲垣 俊明 先生 |
| 第3回中•四 | 1990(平成 2)年 5 月 19 日 | 高松国際ホテル |
| 演題 1 | 「 痴呆の臨床と病理」 山口大学医学部神経内科 教授 | 森松 光紀 先生 |
| 演題 2 | 「パーキンソン病治療の新動向」 香川医科大学脳神経外科 教授 | 大本 尭史 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆と抑うつ」 広島大学 名誉教授 | 更井 啓介 先生 |
| 特別講演 | 「神経免疫相関」 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第六部 部長 | 田平 武 先生 |
| 第4回九州 | 1990(平成 2)年 7 月 7 | 日 博多都ホテル |
| 演題 1 | 「久山町における老年期痴呆の臨床疫学的研究 一脳血管性痴呆の特徴と危険因子に関する検討」 九州大学医学部第二内科 | 河野 英雄 先生 |
| 演題 2 | 「脳 血管性痴呆の病態生理ー特に Leuko-Araiosis について」 鹿児島大学医学部第三内科 講師 | 栗山 勝 先生 |
| 演題 3 | 「痴呆患者への Modified Mini-Mental State Examination (3M)の試み」 今津赤十字病院 院長 | 岡山 昌弘 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病脳の形態学的変化」 熊本大学医学部神経精神科 教授 | 宮川 太平 先生 |
| 第4回近畿 | 1990(平成 2)年7月14日 ロ | イヤル NCB 会館 |
| 特別講演 1 | 「クロイツフェルト・ヤコブ病研究の最近の進歩」 九州大学医学部附属脳神経病研究施設病理部門 教授 | 立石 潤 先生 |
| 特別講演 2 | 「パーキンソン病の知的機能障害」 信州大学医学部第三内科 教授 | 柳澤 信夫 先生 |
| 特別講演 3 | 「エイズの神経病理学的考察」 アルバート・アインシュタイン大学 病理学兼神経科学部門 教授 | 平野 朝雄 先生 |

| 第4回中央 | 1990(平成 2)年 7 月 2 | 8日 経団連会館 |
|---------------------|---|---------------------------------|
| 演題 1 | 「SHR 脳虚血モデルと老化」 国立肥前療養所 所長 | 内村 英幸 先生 |
| 演題 2 | 「脳血管障害と痴呆」 島根医科大学第三内科 講師 | 小林 祥泰 先生 |
| 演題 3 | 「百歳老人の脳」 愛知医科大学加齢医科研究所 所長・第一部門教授 | 佐藤 秩子 先生 |
| 演題 4 | 「 虚血性脳障害とシナプスの可塑性について」 東北大学医学部神経内科 | 小野寺 宏 先生 |
| 演題 5 | 「老年期の記憶障害」 慶應義塾大学医学部精神神経科 助教授 | 浅井 昌弘 先生 |
| 演題 6 | 「 老年期痴呆の危険要因」 北海道大学医学部公衆衛生学 教授 近 | 藤 喜代太郎 先生 |
| 演題 7 | 「 老年期痴呆とバウムテスト」 大阪市立弘済院附属病院精神内科 科長 | 小林 敏子 先生 |
| 演題 8 | 「 老人斑に関する諸問題」 群馬大学医学部神経内科 教授 | 平井 俊策 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病研究の最近の進歩」 東京都老人総合研究所生理学部 臨床第二室長 | 井原 康夫 先生 |
| 第4回中部 | 1990(平成 2)年 10 月 20 日 | 名古屋ヒルトン |
| | | |
| 演題 1 | 「 痴呆と睡眠ー睡眠ポリグラフィによる検討」 金沢大学医学部神経科精神科 教授 | 山口 成良 先生 |
| 演題 1 パネルディカ : | 金沢大学医学部神経科精神科 教授 ソション 「百歳老人の脳をめぐって」 | 山口 成良 先生 |
| | 金沢大学医学部神経科精神科 教授 ッション 「百歳老人の脳をめぐって」 「1. 百歳老人と脳」 愛知医科大学 学長 | 山口 成良 先生田内 久 先生 |
| | 金沢大学医学部神経科精神科 教授 ソション 「百歳老人の脳をめぐって」 「1. 百歳老人と脳」 | |
| . | 金沢大学医学部神経科精神科 教授 ソション 「百歳老人の脳をめぐって」 「1. 百歳老人と脳」 愛知医科大学 学長 「2. 臨床機能面から」 名古屋市厚生院内科 部長 | 田内 久 先生 |
| | 金沢大学医学部神経科精神科 教授 アション 「百歳老人の脳をめぐって」 「1. 百歳老人と脳」 愛知医科大学 学長 「2. 臨床機能面から」 名古屋市厚生院内科 部長 「3. 病理形態面から」 | 田内 久 先生稲垣 俊明 先生佐藤 秩子 先生 |
| パネルディカ | 金沢大学医学部神経科精神科 教授 アション 「百歳老人の脳をめぐって」 「1. 百歳老人と脳」 愛知医科大学 学長 「2. 臨床機能面から」 名古屋市厚生院内科 部長 「3. 病理形態面から」 愛知医科大学加齢医科学研究所 所長・第一部門教授 | 田内 久 先生稲垣 俊明 先生佐藤 秩子 先生 |
| パネルディカ y 第 4 回東北 | 金沢大学医学部神経科精神科 教授 アション 「百歳老人の脳をめぐって」 「1. 百歳老人と脳」 愛知医科大学 学長 「2. 臨床機能面から」 名古屋市厚生院内科 部長 「3. 病理形態面から」 愛知医科大学加齢医科学研究所 所長・第一部門教授 1990(平成 2)年 11 月 「脳血管性痴呆のポジトロン CT (PET) について」 | 田内 久 先生 稲垣 俊明 先生 佐藤 秩子 先生 |

| 第4回北海道 | 1990(平成 2)年 11 月 17 | |
|---------|---|---|
| 演題 1 | | 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 1 7 |
| 700 | 北海道大学医学部脳神経外科 講師 | 上山 博康 先生 |
| 演題 2 | 「ピック病の臨床および画像診断」 中村記念病院神経内科 副院長 | 伊藤 直樹 先生 |
| 特別講演1 | 「痴呆ーTreatable and Untreatable Dementia」 北海道大学医学部神経内科 教授 | 田代 邦雄 先生 |
| 特別講演 2 | 「大脳連合野の認知機能」 日本大学医学部第一生理学 教授 | 酒田 英夫 先生 |
| 第4回中・四国 | 1991 (平成 3) | 年 5 月 18 日 岡山プラザホテル |
| 演題 1 | 「動物における空間見当識障害の作成 一特にそれぞれの脳部位の関与について」 高知医科大学神経精神科 講師 | 山下 元司 先生 |
| 演題 2 | 「アミロイド β 蛋白とアセチルコリン」 広島大学医学部第三内科 教授 | 中村 重信 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆性疾患と周期性脳波異常 ーPLEDs を中心に」 川崎医科大学神経内科 教授 | 寺尾 章 先生 |
| 特別講演 | 「記憶障害の臨床」 県立姫路循環器病センター神経内科 部長 | 山鳥 重 先生 |
| 第5回近畿 | 1991(平成 3)年 | E 6月29日 ロイヤル NCB 会館 |
| 特別講演1 | 「脳血管障害と痴呆」 島根医科大学第三内科 講師 | 小林 祥泰 先生 |
| 特別講演 2 | 「久山町における老年期痴呆の疫学 2. 脳血管性痴呆の危険因子と予後」 九州大学医療技術短期大学部 教授 | 上田 一雄 先生 |
| 特別講演 3 | The Neuropathology of Alzheimer's Disease and E A Sceptic Point of View J Professeur et Chef de service, Laboratoire de Neurop R.Escourlle, Hôpital de la Salpêtrière, Pierre et Marie Curie University, FRA Association Cl | athologie laude Bernard |
| | | Jean-Jacques Hauw, Ph.D. |
| 第5回九州 | 1991(平月 | 成 3) 年 7 月 20 日 博多都ホテル |
| 演題 1 | 「老年期痴呆と P300」 柳川リハビリテーション病院・学院 副院長 | 音成 龍司 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆と嗅覚」 大分県立病院神経内科 副部長 | 法化図 陽一 先生 |
| 特別講演 1 | 「脳血管性痴呆の病態」 九州大学医学部第二内科 教授 | 藤島 正敏 先生 |
| 特別講演 2 | Professor and Head, Department of Psychiatry, University of Iowa, College of Medicine | Robert G.Robinson, M.D. |

| 第5回中央 | 1991(平成 3)年 7 | 月 27 日 経団連会館 |
|-------------|--|-----------------------|
| 演題 1 | 「 老年期痴呆における知的機能の改善と生理学的指標の変化」 東京慈恵会医科大学精神神経科 | 繁田 雅弘 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病とパーキンソン病の画像比較」 山口大学医学部神経内科 教授 | 森松 光紀 先生 |
| 演題 3 | 「老化にともなう脳内受容体 ーアデニル酸シクラーゼ共役機構の変化」 札幌医科大学神経精神科 助教授 | 齋藤 利和 先生 |
| 演題 4 | 「 痴呆と脳内アミロイド」 九州大学医学部附属脳神経病研究施設病理部門 講師 | 北本 哲之 先生 |
| 演題 5 | 「ポジトロン CT で測定した 正常成人局所脳循環代謝量の加齢変化について」 秋田県立脳血管研究センター 所長 | 上村 和夫 先生 |
| 演題 6 | 「Protease Inhibitor と神経突起の変化について」 兵庫医科大学精神神経科 教授 | 三好 功峰 先生 |
| 演題 7 | 「 痴呆の神経心理学-痴呆の神経心理学類型を中心に」 名古屋市立大学医学部精神科 教授 | 濱中 淑彦 先生 |
| 特別講演 | 「Synapse Loss in Neuropil of Association Cortex Correlates with Dementia in Alzheimer Disease」 Professor, Department of Neurosciences and Pathology, School of Medicine, University of California, San Diego | Robert D. Terry, M.D. |
| 第5回北海道 | 1991(平成3)年9月28日 ホテ | ルニューオータニ札幌 |
| 特別講演 | 「高齢者における慢性硬膜下血腫の病態と治療」 北海道大学医学部脳神経外科 教授 | 阿部 弘 先生 |
| シンポジウム | 「痴呆性疾患の治療をめぐって」 | |
| | 「1. 痴呆にともなうせん妄の特徴と対応について」 北海道立向陽ヶ丘病院 院長 | 高橋 三郎 先生 |
| | 「2. 老年期痴呆における知的機能の改善をめぐって」 東京慈恵会医科大学精神神経科 | 繁田 雅弘 先生 |
| | 「3. 痴呆の病態と薬物療法について」 大阪大学医学部神経科精神科 助教授 | 播口 之朗 先生 |
| 第 5 回東北 | 1991 (平成 3)年 | E 11 月 9 日 艮陵会館 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病における アセチルコリンエステラーゼ老人斑の特徴について」 福島県立医科大学神経精神科 | 田子 久夫 先生 |
| 演題 2 | 福島県立医科人子神経相神科 「アルツハイマー病と脳梗塞ーその共通点」 山形大学医学部第三内科 講師 | 加藤 丈夫 先生 |
| 特別講演 1 | 「早期老年痴呆の診断と治療」 浜松医療センター 副院長 | 金子 満雄 先生 |

「REM 睡眠にともなう異常行動-夜間せん妄と鑑別すべき現象」

菱川 泰夫 先生

秋田大学医学部精神科 教授

特別講演2

| 第5回中部 | | 1991(平成 3)年11月30日 | 名古屋ヒルトン |
|--------|---|---------------------|-----------|
| 演題 1 | 「びまん性レビー小体病と痴呆」 国立名古屋病院神経内科 | Γ | 向井 栄一郎 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆性疾患の予防は可能か」 三重大学医学部神経内科 教授 | | 葛原 茂樹 先生 |
| 演題 3 | 「サル扁桃体・海馬ニューロンの価値 富山医科薬科大学第二生理学 教持 | | 小野 武年 先生 |
| 特別講演 | 「神経心理検査からみた前頭葉症状」 慶應義塾大学医学部精神神経科 : | 構 師 | 鹿島 晴雄 先生 |
| 第5回中•四 | 国 19 | 92(平成 4)年 5月 23日 オー | ークラホテル丸亀 |
| 演題 1 | 「 局所脳血流分布とその左右差・性差 香川医科大学第二内科 講師 | の加齢による変化」 | 津田 能康 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー型痴呆における局所 社会保険広島市民病院 副院長 | 脳血流量」 | 引地 明義 先生 |
| 演題 3 | 「Binswanger 病の神経病理-18 剖検作 鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究 脳神経病理部門 教授 | | 大浜 栄作 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病研究の最近の進歩 東京医科歯科大学医学部神経内科 | | 宮 武正 先生 |
| 第6回近畿 | | 1992(平成 4)年7月11日 | ロイヤルホテル |
| 特別講演1 | 「 老年期痴呆と神経伝達物質」 広島大学医学部第三内科 教授 | | 中村 重信 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年期痴呆の臨床的問題点について 大阪大学医学部神経内科 教授 | J | 柳原 武彦 先生 |
| 特別講演3 | 「アルツハイマー病脳病変の最新の知 熊本大学医学部神経精神科 教授 | 見」 | 宮川 太平 先生 |
| 第6回九州 | | 1992(平成 4)年7月18 | 日 博多都ホテル |
| 演題 1 | 「高血圧自然発症ラット(SHR)におけ 九州大学医学部第二内科 | る老化と知的機能」 | 森 盛 先生 |
| 演題 2 | 「無症候性脳病変の脳血管障害後遺症 国立療養所福岡東病院脳卒中センク | | 高野 健太郎 先生 |
| 演題 3 | 「無症候性脳血管障害の病態」 九州大学医学部第二内科 | | 井林 雪郎 先生 |
| 演題 4 | 「 老年期痴呆における Leukoaraiosis G 今津赤十字病院精神科 部長 | の臨床的意義」 | 納富 昭人 先生 |
| 演題 5 | 「 痴呆疾患の PET - 皮質下痴呆を中心 社会保険下関厚生病院神経内科 部 | - | 細川 晋一 先生 |
| 特別講演 | 「ビンスワンガー型白質脳症の臨床と 東京都老人医療センター神経内科 | ··· - - | 山之内 博 先生 |

| 第6回中央 | 1992 (| (平成4)年7月25日 | 経団連会館 |
|--------|---|-------------------|---------|
| 演題 1 | 「海馬と記憶」 富山医科薬科大学医学部第二生理学 教授 | 小野 | 5 武年 先生 |
| 演題 2 | 「老人斑アミロイドの構成成分 一斑形成過程に関する免疫病理学的検討」 北海道大学医学部精神科神経科 | 高丸 | . 勇司 先生 |
| 演題 3 | 「白質病変による痴呆 -Membranous lipodystrophy (Nasu) の一家系 慶應義塾大学医学部神経内科 講師 | | 〔 篤生 先生 |
| 演題 4 | 「虚血と神経毒による晩発性脳傷害」 岡山大学医学部附属分子細胞医学研究施設 神経情報学部門 助教授 | 小儿 | 紀雄 先生 |
| 演題 5 | 「脳血管性痴呆(とくに Binswanger 型)の病態生理 九州大学医学部第二内科 | | 、雪郎 先生 |
| 演題 6 | 「 痴呆疾患の臨床と画像解析について」 山形大学医学部精神科神経科 教授 | 十束 | 〔支朗 先生 |
| 演題 7 | 「脳 卒中後の知的機能障害例の検討」 国立大阪南病院循環器科 副院長 | 額田 | 忠篤 先生 |
| 特別講演 | 「 老年期痴呆の病態とその基礎」 広島大学医学部第三内科 教授 | 中村 | 十重信 先生 |
| 第6回中部 | 1992(平月 | 成 4) 年 9 月 5 日 名古 | 屋ヒルトン |
| 演題 1 | 「レボドパ長期治療ーパーキンソン病患者の現状」 国立療養所中部病院臨床研究部 室長 | | 大一 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病における脳 bFGF の局在につい 金沢医科大学神経内科 教授 | | 原二郎 先生 |
| 演題 3 | 「脳卒中による急性発症の健忘症候群と痴呆との関 国立療養所東名古屋病院 院長 | · · · · = | 禁一 先生 |
| 特別講演 | 「誤診のおこるときー老年期痴呆をめぐって」 北海道大学医学部精神科神経科 教授 | 山下 | 格 先生 |
| 第6回北海道 | 1992(平成 4)年 11 月 | 7日 ホテルニューオ | ータニ札幌 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病の MRI 画像とその意義につい 一定量的解析と臨床像の変遷過程を中心に」 医療法人ときわ病院精神神経科 | | ≟ 仁朗 先生 |
| 演題 2 | 「初老期以後の嫉妬妄想一痴呆および非痴呆例」 市立士別総合病院精神神経科 | 佐藤 | 譲 先生 |
| 特別講演 1 | 「久山町における脳血管痴呆例の予後」 九州大学医療技術短期大学部 教授 | 上田 | Ⅰ 一雄 先生 |
| 特別講演 2 | 「老年期痴呆の類型とそのメンタルケア」 国立療養所菊池病院 名誉院長 | 室伏 | 大君士 先生 |

| 第6回東北 | 1992(平成 4)年 1 | 11月14 | 日勝 | 掛館 |
|-------------|--|---------|-----|---------------|
| 演題 1 | 「老年期痴呆の臨床病態ーCT,MRI,PET による画像解析」 東北大学医学部老人科 | 目黒 | 謙一 | 先生 |
| 演題 2 | 「 ピック病の画像所見と鑑別診断」 山形大学医学部精神神経科 | 川勝 | 忍 | 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆患者の脳血流酸素代謝」 秋田県立脳血管研究センター放射線医学研究部 主任研究員 | 畑澤 | 順 | 先生 |
| 特別講演1 | 「脳血管性痴呆の成因と病態」 岩手医科大学医学部神経内科 教授 | 東儀 | 英夫 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「 痴呆評価スケールの機能」 聖マリアンナ医科大学神経精神科 教授 | 長谷川 | 和夫 | 先生 |
| 第6回中•四国 | 1993(平成 5)年 4 月 17 日 | 岡山プ | ラザォ | テル |
| 演題 1 | 「パーキンソン病・進行性核上性麻痺の知的機能について 一事象関連電位による検討」 香川医科大学第三内科 助教授 | 竹内 | 博明 | 先生 |
| 演題 2 | 「神経原線維変性の病態 ーPick 病、進行性核上性麻痺、アルツハイマー型痴呆での比 岡山大学医学部神経精神科 教授 | | 重利 | 先生 |
| 演題 3 | 「アルツハイマー病の病態における免疫機序の関与」 山口大学医学部神経精神科 教授 | 山田 | 通夫 | 先生 |
| 特別講演 | 「老年者の総合的機能評価をめぐって一特に高血圧との関連」 東京都老人医療センター 院長 | 小澤 | 利男 | 先生 |
| 第 7 回九州 | 1993 (平成 5)年 7 月 3 | 8日 博 | | テル |
| 演題 1 | 「老年期痴呆における Xe-CT」 今津赤十字病院神経内科 部長 | 濵田 | 正 | 先生 |
| 演題 2 | 「奄美大島笠利町の Longitudinal Study 一初期調査における痴呆の現況と問題点」 鹿児島大学医学部第三内科 講師 | 有村 | 公良 | 先生 |
| 演題 3 | 「一般住民における老年期痴呆有病率の時代的推移一久山町研究 九州大学医学部第二内科 講師 | 」 清原 | 裕 | 先生 |
| 特別講演1 | 「軽症痴呆の診断」 東京慈恵会医科大学精神神経科 助教授 | 清水 | 信 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「老年痴呆はどこまで判っているか」 国立療養所中部病院 院長・鹿児島大学 前学長 | 井形 | 昭弘 | 先生 |

| 第7回近畿 | 1993 (平成 5)年7月10日 リーガロイヤル1 | NCB |
|-------|---|-----|
| 演題 1 | 「家族性アルツハイマー病の遺伝子解析」 大阪大学医学部老年病医学 講師 三木 哲郎 st | 先生 |
| 演題 2 | 「老年期痴呆の臨床疫学一京都府における実態調査から」 京都府立医科大学神経内科 教授 中島 健二 st | 先生 |
| 演題 3 | 「 老年期脳障害モデル動物」 京都大学胸部疾患研究所老化生物学分野 教授 竹田 俊男 st | 先生 |
| 特別講演 | 「 老年期痴呆の診断と治療」 群馬大学医学部神経内科 教授 平井 俊策 : | 先生 |
| 第7回中央 | 1993 (平成 5) 年 7 月 24 日 経団連 | 会館 |
| 演題 1 | 「老ラットおよび プロテアーゼ・インヒビター投与ラット脳の超微形態」 旭川医科大学医学部精神科神経科 布村 明彦: | 先生 |
| 演題 2 | 「痴呆例の大脳白質病変ー髄鞘とグリアの組織計測」 秋田県立脳血管研究センター研究局・病理学研究部 研究局長・部長 深沢 仁: | 先生 |
| 演題 3 | 「アミロイド β 蛋白前駆体の代謝過程」 群馬大学医学部神経内科 講師 東海林 幹夫・ | 先生 |
| 演題 4 | 「bFGF 局在からみた Alzheimer 病」 金沢医科大学神経内科 教授 廣瀬 源二郎・ | 先生 |
| 演題 5 | 「アルツハイマー型老年痴呆とイノシトールリン脂質代謝」 京都大学医学部神経内科 下濱 俊: | 先生 |
| 演題 6 | 「有機錫中毒による動物の迷路学習障害」 高知医科大学神経精神医学教室 助教授 山下 元司 st | 先生 |
| 演題 7 | 「一般住民における老年期痴呆有病率の時代的推移一久山町研究」 九州大学医学部第二内科 講師 清原 裕 : | 先生 |
| 特別講演 | 「老年期痴呆の疫学およびその評価尺度」 国立下総療養所 所長 大塚 俊男 st | 先生 |
| | 1993 (平成 5)年 10月 16日 名鉄ニューグランドホ | テル |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病における分子生物学的アプローチ」 国立療養所中部病院内科 医長 遠藤 英俊 : | 先生 |
| 演題 2 | 「非定型痴呆-Non-Alzheimer non-Pick dementia with Fahr's syndrome について」 名古屋大学医学部精神科 講師 柴山 漠人 st | 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆の簡易神経心理学的検査」 富山医科薬科大学医学部精神科神経科 教授 倉知 正佳 | 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー型痴呆の評価と最近の治療」 東京都老人総合研究所精神医学部門 研究室長 本間 昭 : | 先生 |
| 特別講演2 | 「脳血管障害における知的機能低下に関する要因」 国立循環器病センター内科脳血管部門 部長 山口 武典 : | 先生 |

| 第7回東北 | 1993(平成 5)年 1 | 1月6日 艮陵会館 |
|---------|--|---------------|
| 演題 1 | 「神経細胞死における programmed cell death の現況」 東北大学医学部脳神経外科 | 冨永 悌二 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆老人における呼吸器ケア」 東北大学医学部老人科 | 関沢 清久 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆老年者の睡眠障害」 国立精神・神経センター精神保健研究所精神生理部 部長 | 大川 匡子 先生 |
| 特別講演 1 | 「無症候性脳梗塞と痴呆」 京都府立医科大学神経内科 教授 | 中島 健二 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年期のうつ病と痴呆」 東北大学医学部神経精神科 教授 | 佐藤 光源 先生 |
| 第7回北海道 | 1993 (平成 5)年 11月 20 |)日 ロイトン札幌 |
| 演題 1 | 「 <mark>痙性麻痺を伴う非定型的 Alzheimer 病について」</mark> 北祐会神経内科病院 副院長 | 濱田 幸治 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病関連蛋白の免疫学的検索」 札幌医科大学医学部第一内科 助教授 | 今井 浩三 先生 |
| 特別講演1 | 「老人病院における痴呆性疾患の対応について」 青梅慶友病院 院長 | 大塚 宣夫 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病診療の進歩」 広島大学医学部第三内科 教授 | 中村 重信 先生 |
| 第7回中・四日 | 国 1994(平成 6)年4月23日 リーラ | ガホテルゼスト高松 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病におけるアミロイド前駆体蛋白の検討」 鳥取大学医学部神経内科 | 浦上 克哉 先生 |
| 演題 2 | 「加齢とエコロジーーフィールド医学試論」 高知医科大学老年病科 講師 | 松林 公蔵 先生 |
| 演題 3 | 「アミロイドアンギオパチーと脳血管性痴呆」 島根医科大学第三内科 非常勤講師 | 藤原 茂芳 先生 |
| 演題 4 | 「老化にともなう神経伝達機構の変化」 岡山大学医学部神経内科 教授 | 庄盛 敏廉 先生 |
| 特別講演 | 「脳血管性痴呆に関する最近の知見」 群馬大学医学部神経内科 教授 | 平井 俊策 先生 |
| 第8回九州 | 1994(平成 6)年 6 月 4 | 1日 博多都ホテル |
| 演題 1 | 「 多発梗塞性痴呆患者の脳循環代謝と髄液乳酸濃度」 九州大学医学部第二内科 | 入江 克実 先生 |
| 演題 2 | 「知能低下と血液レオロジー」 福岡大学医学部第一内科 | 広岡 満 先生 |
| 演題3 | 「 脳表へモジデリン沈着症の 2 例」 熊本大学医学部神経精神科 講師 | 桂木 正一 先生 |
| 特別講演1 | 「 虚血性白質脳症 (ビンスワンガー病) の診断と対策」 京都大学医学部神経内科 助教授 | 秋口 一郎 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病発症機構に関する最近の知見」 鳥取大学医学部神経内科 教授 | 高橋 和郎 先生 |

| 第8回近畿 | 19 | 994(平成 6)年7月9日 | リーガロイヤル NCB |
|------------------------------|---|--|---|
| 神経疾患と痴 | | | |
| 演題 1 | 「 痴呆を伴う筋萎縮性側索硬化症」 市立堺病院 顧問 | | 湯浅 亮一 先生 |
| 演題 2 | 「汎発性 Lewy 小体病と痴呆」 三重大学医学部神経内科 教授 | | 葛原 茂樹 先生 |
| 演題 3 | 「脳表へモジデリン沈着症と痴呆」 神戸市立中央市民病院神経内科 音 | 部長 | 川村 純一郎 先生 |
| 演題 4 | 「Corticobasal degeneration と痴呆」 住友病院神経内科 部長 | | 宇高 不可思 先生 |
| 演題 5 | 「 辺縁系脳炎と痴呆」 金沢医科大学神経内科 教授 | | 廣瀬 源二郎 先生 |
| 演題 6 | 「 虚血性白質粗化と痴呆」 京都大学医学部神経内科 助教授 | | 秋口 一郎 先生 |
| 特別講演 | 「 プリオン病と痴呆」 九州大学医学部附属脳神経病研究抗 | 施設病理部門 講師 | 北本 哲之 先生 |
| 第8回中央 | | 1994(平成 6)年 7 | 月 23 日 経団連会館 |
| 冷田 1 | | | |
| 演題 1 | 「老齢高血圧ラットの記憶と局所脳糖 九州大学医学部第二内科 | 代謝-降圧治療の影響」 | 森 盛 先生 |
| 演題 2 | | | 森 盛 先生 浦上 克哉 先生 |
| | 九州大学医学部第二内科 「アルツハイマー病における プロテアーゼ阻害部位とアミロイ | ドβ蛋白前駆体」 | |
| 演題 2 | 九州大学医学部第二内科 「アルツハイマー病における プロテアーゼ阻害部位とアミロイ 鳥取大学医学部神経内科 「脳表へモジデリン沈着症と痴呆」 | ドβ蛋白前駆体」 部長 | 浦上 克哉 先生 |
| 演題 2 演題 3 | 九州大学医学部第二内科 「アルツハイマー病における プロテアーゼ阻害部位とアミロイ 鳥取大学医学部神経内科 「脳表へモジデリン沈着症と痴呆」 神戸市立中央市民病院神経内科 「アルツハイマー病関連遺伝子の検索 | ドβ蛋白前駆体」 部長 :」 受 | 浦上 克哉 先生 |
| 演題 2 演題 3 演題 4 | 九州大学医学部第二内科 「アルツハイマー病における プロテアーゼ阻害部位とアミロイ 鳥取大学医学部神経内科 「脳表へモジデリン沈着症と痴呆」 神戸市立中央市民病院神経内科 「アルツハイマー病関連遺伝子の検索 札幌医科大学医学部第一内科 教技 | ド β 蛋白前駆体」 部長 ジ 受 一の有用性」 候群とアルツハイマー症 | 浦上 克哉 先生 川村 純一郎 先生 今井 浩三 先生 篠原 幸人 先生 |
| 演題 2 演題 3 演題 4 演題 5 | 九州大学医学部第二内科 「アルツハイマー病における プロテアーゼ阻害部位とアミロイ 鳥取大学医学部神経内科 「脳表へモジデリン沈着症と痴呆」 神戸市立中央市民病院神経内科 「アルツハイマー病関連遺伝子の検索 札幌医科大学医学部第一内科 教授 「痴呆性疾患診断における診断マーカ 東海大学医学部神経内科 教授 「1H MRS と定量脳波によるダウン症・ | ド β 蛋白前駆体」 部長 :」 受 一の有用性」 候群とアルツハイマー症 助教授 !経障害 ・て」 | 浦上 克哉 先生 川村 純一郎 先生 今井 浩三 先生 篠原 幸人 先生 |

| 第8回中部 | 1994(平成 6)年 9 月 3 日 | ホテルナゴヤキャッスル |
|--------|--|---------------------------|
| 演題 1 | 「アルツハイマー型痴呆の 初老期発症患者と老年期発症患者の相違点」 名古屋大学医学部老年科 講師 | 河野 和彦 先生 |
| 演題 2 | 「Proton MRS と QEEG による病的老化 ーダウン症候群とアルツハイマー病について」 金沢大学医学部神経科精神科 教授 | 越野 好文 先生 |
| 演題 3 | 「 老年期のうつ病ー最近の知見」 藤田保健衛生大学医学部精神科 講師 | 池田 淑夫 先生 |
| 演題 4 | 「グアム島のパーキンソニズム痴呆コンプレックス ー本邦におけるパーキンソニズムと痴呆を呈する疾 国立療養所東名古屋病院神経内科 医長 | 患との比較」 村上 信之 先生 |
| 特別講演 | 「 痴呆性老人のケアー福祉の立場から」 大阪府立大学社会福祉学部 教授 | 大國 美智子 先生 |
| 第8回北海道 | 1994(平成 6)年 | 11月12日 ロイトン札幌 |
| 演題 1 | 「 難治性側頭葉てんかんと脳損傷」 旭川医科大学脳神経外科 助教授 | 田中 達也 先生 |
| 演題 2 | 「 老人保健施設における痴呆者への対応と成果」 札幌太田病院 院長 | 太田 耕平 先生 |
| 特別講演1 | 「脳の老化と神経細胞死」 北海道大学薬学部薬効学教室 教授 | 野村 靖幸 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病の脳画像診断の進歩について」 Professor, Department of Neurology and Neurosurgery, McGill University | |
| | Y. Luc | cas Yamamoto, M.D., Ph.D. |
| 第8回東北 | 1994(平成 | 6)年11月19日 艮陵会館 |
| 演題 1 | 「老化促進モデルマウス (SAM) における学習記憶障害と ーIn Situ Nick Translation 法による検討」 国立療養所米沢病院神経内科 | 脳病変 飛田 宗重 先生 |
| 演題 2 | 「加齢と体性感覚誘発電位」 弘前大学医学部第三内科 | 尾崎 勇 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆疾患専門治療病棟の現状と今後の方向性」 医療法人久幸会今村病院 理事長 | 稲庭 千弥子 先生 |
| 特別講演 1 | 「 痴呆と事象関連電位」 福島県立医科大学神経精神科 教授 | 丹羽 真一 先生 |
| 特別講演 2 | 「高齢者の咀嚼状況と全身との関係」 | |

| 第8回中•四 | 国国 1995(平成 7)年 4 月 15 日 岡山ロイヤルホテル | ル |
|--------|--|----|
| 演題 1 | 「 痴呆性疾患とケア」 高知医科大学神経科精神科 真田 順子 先生 | 生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病における脳血管の異常」 広島大学医学部第三内科 講師 三森 康世 先 9 | 生 |
| 演題 3 | 「虚血性脳血管障害の進展に伴う血液レオロジーの変化」 香川医科大学第二内科 講師 津田 能康 先生 | 生 |
| 演題 4 | 「アルコール関連痴呆をめぐって」 香川医科大学精神神経科 教授 | 生 |
| 演題 5 | 「アルツハイマー型痴呆の臨床・病理診断について」 東京大学医学部精神神経科 教授 松下 正明 先生 | 生 |
| 第9回九州 | 1995(平成 7)年 6 月 24 日 博多都ホテル | ル |
| 演題 1 | 「 老年期痴呆の発症率と危険因子ー久山町研究」 九州大学医学部第二内科 吉武 毅人 先 9 | 生 |
| 演題 2 | 「一過性虚血による海馬遅発性細胞死と高圧酸素療法の効果」 国立肥前療養所情動行動障害センター臨床研究部形態研究室 近藤 晃 先st | 生 |
| 演題3 | 「放射線障害と脳の老化」 長崎大学医学部原爆被災学術資料センター病理部門 助教授 岸川 正大 先 望 | 生 |
| 特別講演1 | 「老年期痴呆の臨床評価」 東京都老人総合研究所精神医学部門 研究部長 本間 昭 先生 | 生 |
| 特別講演 2 | 「抗痴呆薬開発の現状と将来への展望」 群馬大学医学部神経内科 教授 平井 俊策 先生 | 生 |
| 第9回近畿 | 1995 (平成 7) 年 7 月 8 日 リーガロイヤル NC | СВ |
| 演題 1 | 「筋萎縮性側索硬化症と痴呆」 田附興風会北野病院神経内科 副部長 松本 禎之 先生 | 生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病患者の世界ー視覚情報処理過程の解析」 札幌医科大学医学部神経精神科 講師 藤井 充 先生 | 生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病と診断マーカー」 群馬大学医学部神経内科 講師 東海林 幹夫 先生 | 生 |
| 特別講演 2 | 「Subcortical Atheriosclerotic Encephalopathy の 脳画像診断と神経病理」 国立循環器病センター脳卒中・動脈硬化研究部門 部長 緒方 絢 先生 | 生 |
| 特別講演3 | 「絵をみる脳ー美術における視覚情報処理機構」 東京女子医科大学脳神経センター神経内科 教授 岩田 誠 先生 | 生 |
| 特別講演 4 | 「血管性痴呆およびアルツハイマー型痴呆概念の誕生 -100 年前の医学研究史より」 東京大学医学部精神科 前教授 原田 憲一 先生 | 生 |

| 第9回中央 | 1995(平成 7)年 7 月 2 | 22 日 | 経団連 | 三会館 |
|--------|---|------|-----------|-----|
| 演題 1 | 「クロロキンミオパチーラットとアミロイド病変」 札幌医科大学医学部微生物学講座 | 続 | 佳代 | 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆性疾患における Apolipoprotein E の臨床的意義」 東北大学医学部老人科 | 荒扌 | ‡ 啓行 | 先生 |
| 演題 3 | 「老年期痴呆と白質病変 一脳循環代謝面からみた多発梗塞性痴呆とアルツハイマー型 痴呆における脳室周囲高信号域の臨床的意義について」 日本医科大学第二内科 | 酒客 | 子修 | 先生 |
| 演題 4 | 「グアムのパーキンソン痴呆コンプレックスと痴呆」 国立療養所東名古屋病院神経内科 医長 | 村上 | :信之 | 先生 |
| 演題 5 | 「 痴呆の神経心理学ー記憶障害の観点から」 大阪大学健康体育部健康医学第三部門 助教授 | 田邉 | 垦 敬貴 | 先生 |
| 演題 6 | 「 痴呆性疾患における中潜時聴性反応 (MAEP) の検討」 広島大学医学部第三内科 講師 | 三君 | 康世 | 先生 |
| 演題 7 | 「最近注目されている初老期痴呆」 宮崎医科大学精神科 教授 | 三山 | 」 吉夫 | 先生 |
| 特別講演 | 「β-アミロイド蛋白によるアルツハイマー病動物モデル」 名古屋大学医学部医療薬学・附属病院薬剤部 教授 | 鍋島 | 号 俊隆 | 先生 |
| 第9回中部 | 1995(平成 7)年 10 月 21 日 ホテル | ナゴヤ | フキャッ | スル |
| 演題 1 | 「老年期痴呆とその周辺症状モデルとしての老齢ラット」 名古屋大学医学部医療薬学・附属病院薬剤部 教授 | 鍋峊 | 兽 俊隆 | 先生 |
| 演題 2 | 「脳血管性痴呆の血圧日内変動」 愛知医科大学第三内科 助教授 | 塩見 | 見利明 | 先生 |
| 演題 3 | 「内科からみた痴呆の病態とその臨床」 金沢大学医学部神経内科 教授 | 高句 | ア 正治 | 先生 |
| シンポジウム | 「痴呆の早期診断をめぐって」 「1. アルツハイマー型痴呆初期の記憶障害」 国立精神・神経センター武蔵病院 第一病棟部長 「2. 行動神経学、神経心理学と画像診断」 | 宇野 | 予正威 | 先生 |
| | 兵庫県立高齢者脳機能研究センター附属病院 診療部長・臨床研究科長 | 森 | 悦朗 | 先生 |
| | 「3. 痴呆の危険因子と知的機能低下度による早期診断の検討」 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター内科 医長 | 遠蔣 | 英俊 | 先生 |

| 第9回東北 | | 1995(平成 7)年 11 月 11 日 艮陵会館 |
|--------|---|----------------------------|
| 演題 1 | 「大脳白質病変と知的機能障害ーSPECT によ 岩手医科大学医学部神経内科 講師 | こる検討」 高橋 智 先生 |
| 演題 2 | 「MRI 画像疫学から見たアルコール症の脳障 秋田大学保健管理センター 助教授 | 害と痴呆」 苗村 育郎 先生 |
| 演題 3 | 「痴呆を伴った脳卒中患者の 局所脳血流量(rCBF)からみた左右大脳半 黎明郷リハビリテーション病院 院長 | 球の比較」 目時 弘文 先生 |
| 特別講演 1 | 「ビンスワンガー型白質脳症」 東京都老人医療センター神経内科 部長 | 山之内 博 先生 |
| 特別講演 2 | 「 痴呆性老人に対する医療と福祉の接点」 大阪府立大学社会福祉学部 前教授 | 大國 美智子 先生 |
| 第9回北海道 | 199 | 5(平成7)年11月18日 ロイトン札幌 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病の視覚世界ー視空間機能の 札幌医科大学医学部神経精神科 | の解析の試み」 内海 久美子 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆性老人のリハビリテーションについて 北海道大学医療技術短期大学部作業療法学 | _ |
| 特別講演 1 | 「HIV 脳症における痴呆の病理」 北海道大学医学部病理学第二講座 教授 | 長嶋 和郎 先生 |
| 特別講演 2 | 「無症候性脳梗塞」 島根医科大学第三内科 教授 | 小林 祥泰 先生 |
| 第9回中・四 | 1996(平成 8)4 | 年4月20日 リーガホテルゼスト高松 |
| 演題 1 | 「75歳以上の後期老年者における 運動の神経行動機能に対する効果」 高知医科大学老年病科 | 奥宮 清人 先生 |
| 演題 2 | 「脳虚血性病変における神経細胞死とアポトー 山口大学医学部脳神経外科 助教授 | ーシス」 山下 勝弘 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆性疾患の電気生理学」 島根医科大学第三内科 助教授 | 山口 修平 先生 |
| 演題 4 | 「老化と日内リズムー中枢ドパミン神経系の活動山大学医学部神経内科 助教授 | 活動」 盛政 忠臣 先生 |
| 特別講演 | 「びまん性レビー小体病の臨床と病理」 横浜市立大学医学部神経科 教授 | 小阪 憲司 先生 |

| 第 10 回九州 | 1996(平成 8)年 6 月 8 | 3日 博多都ホテル |
|----------|---|------------|
| 演題 1 | 「早期発症型痴呆家系の臨床と遺伝子異常」 鹿児島大学医学部第三内科 講師 | 中川 正法 先生 |
| 演題 2 | 「記憶障害ー責任病巣と画像診断」 国立療養所福岡東病院脳卒中センター臨床研究部 部長 | 田川 皓一 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆が疑われて精神科に紹介された症例」 福岡県立太宰府病院 院長 | 末次 基洋 先生 |
| 特別講演1 | 「ヒト・プリオン病と痴呆」 東北大学医学部病態神経学 教授 | 北本 哲之 先生 |
| 特別講演 2 | 「無症候性脳梗塞と認知機能」 島根医科大学第三内科 教授 | 小林 祥泰 先生 |
| 第 10 回近畿 | 1996(平成 8)年7月6日 リ | ーガロイヤル NCB |
| 特別講演 1 | 「アルツハイマー病における 知的機能評価、脳萎縮、脳循環・代謝の相互関係」 兵庫県立高齢者脳機能研究センター 診療部長・臨床研究科長 | 森 悦朗 先生 |
| 特別講演 2 | 「老年期痴呆の臨床評価:CASIを中心として」 東京都老人総合研究所精神医学部門 研究部長 | 本間 昭 先生 |
| 特別講演3 | 「前頭前野の機能」 東北大学医学部高次機能障害学 教授 | 山鳥 重 先生 |
| 特別講演 4 | 「 老年期痴呆の基礎的研究と臨床との間」 大阪大学 名誉教授・甲子園大学 教授 | 西村 健 先生 |
| 第 10 回中央 | 1996(平成 8)年7月 | 27日 経団連会館 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病における視空間認知障害 一特に心的操作について」 札幌医科大学医学部神経精神科 | 内海 久美子 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆脳の神経細胞の画像化」 秋田県立脳血管研究センター放射線医学研究部 主任研究員 | 畑澤 順 先生 |
| 演題 3 | 「運動ニューロン疾患に伴う痴呆症の大脳病変」 群馬大学医学部神経内科 教授 | 岡本 幸市 先生 |
| 演題 4 | 「 進行性核上性麻痺と Corticobasal Degeneration の病理」 愛知医科大学加齢医科学研究所 教授・所長 | 橋詰 良夫 先生 |
| 演題 5 | 「脳アミロイド・アンギオパチーと痴呆との関連」 国立循環器病センター研究所脳卒中・動脈硬化研究部 部長 | 緒方 絢 先生 |
| 演題 6 | 「ピック病のグリア変性」 岡山大学医学部精神科神経科 教授 | 黒田 重利 先生 |
| 演題 7 | 「高放射線地域(中国陽江地区)における老人性痴呆の疫学調査」 長崎大学医学部原爆被災学術資料センター病理部 助教授 | 岸川 正大 先生 |
| 特別講演 | 「 脳血管性痴呆」 島根医科大学第三内科 教授 | 小林 祥泰 先生 |

| 第 10 回中部 | 1996(平成 8)年 10 月 19 日 ホテル | ナゴヤ | キャッ | スル |
|-----------|--|---------|-----|----|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病アミロイド前駆体タンパク質の代謝過程」 岡崎国立共同研究機構生理学研究所神経化学研究部門 助教授 | 丸山 | 敬 | 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病における神経細胞死」 福井医科大学第二内科 教授 | 栗山 | 勝 | 先生 |
| 特別講演 1 | 「アルツハイマー型痴呆の免疫学的治療戦略: 抗炎症剤治療に対する評価を含む」 滋賀医科大学分子神経生物学研究センター 神経形態学部門 教授・センター長 | 木村 | 宏 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「痴呆の画像診断の現状と将来」 秋田県立脳血管研究センター 所長 | 上村 | 和夫 | 先生 |
| 第 10 回東北 | 1996(平成 8)年 11 | 月 9 日 | 艮陵 | 会館 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病脳病理の形成機構」 東北大学医学部病態神経学 講師 | 辛 | 龍雲 | 先生 |
| 演題 2 | 「Single Systems Design による効果検討の方法一作業療法の効果 秋田大学医療技術短期大学部作業療法学科 教授 | 」 山田 | 孝 | 先生 |
| 演題 3 | 「高齢者の知的能力-新しい展望と問題点」 東北福祉大学福祉心理学科 教授・東北大学 名誉教授 | 北村 | 晴朗 | 先生 |
| 特別講演1 | 「Hemodynamic Ischemia に伴う痴呆ー血行再建術による予防」 岩手医科大学医学部脳神経外科 教授 | 小川 | 彰 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルコール性痴呆の分子遺伝学」 国立療養所久里浜病院精神科 医長 | 樋口 | 進 | 先生 |
| 特別講演 3 | 「老年期痴呆へのチャレンジ」 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター 院長 | 井形 | 昭弘 | 先生 |
| 第 10 回北海道 | 1996(平成 8)年 11 月 16 |] 口, | イトン | 札幌 |
| 演題 1 | 「 臨床経過からみた痴呆と抑うつ」 北海道立向陽ヶ丘病院精神科神経科 | 中村 | 一朗 | 先生 |
| 演題 2 | 「 老年期の妄想性障害」 市立札幌病院静療院 | 安田 | 素次 | 先生 |
| 演題 3 | 「 痴呆性疾患の機能画像診断」 北海道大学医学部核医学 教授 | 玉木 | 長良 | 先生 |
| 演題 4 | 「リハビリテーションの立場からみた痴呆」 北海道大学医学部リハビリテーション医学 教授 | 眞野 | 行生 | 先生 |
| 特別講演 1 | 「非アルツハイマー型・非ピック型痴呆の臨床と病理」 宮崎医科大学精神科 教授 | 三山 | 吉夫 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年期痴呆の早期診断と治療の試み」 東京都立神経病院 院長 | 平井 | 俊策 | 先生 |

| 第 10 回中・四 | 国国 | 1997(平成 9)年 4 月 19 日 | 岡山ロイヤルホテル |
|-----------|--|----------------------|---------------|
| 演題 1 | 「 老年期慢性硬膜下血腫における痴 山口大学医学部脳神経外科 | i呆」 | 藤澤 博亮 先生 |
| 演題 2 | 「 老年期および痴呆性疾患の脳波 ー 川崎医科大学神経内科 助教授 | ・トポグラフィーによる分析 | ·」 安田 雄 先生 |
| 演題 3 | 「Pick 病の症候学」 愛媛大学医学部精神科神経科 | 教授 | 田邉 敬貴 先生 |
| 演題 4 | 「パーキンソン病患者における痴呆 鳥取大学医学部脳神経内科 教 | = | 中島 健二 先生 |
| 特別講演 | 「Human Brain Mapping の現況」 京都大学医学部脳病態生理学 」 | 助教授 | 福山 秀直 先生 |
| 第 11 回九州 | | 1997(平成 9)年 6月 | 28日 博多都ホテル |
| 演題1 | 「アルツハイマー型老年痴呆におけ 今津赤十字病院精神科 部長 | る白質病変の臨床的意義」 | 田北 昌史 先生 |
| 演題 2 | 「認知機能障害群の予後と痴呆発症 大分医科大学第三内科 助教授 | 関連要因」 | 熊本 俊秀 先生 |
| 演題 3 | 「 非ヘルペス性急性辺縁系脳炎」 久留米大学医学部第一内科 教 | 受 | 庄司 紘史 先生 |
| 特別講演1 | 「痴呆の画像と神経病理」 国立循環器病センター研究所脳 | 卒中・動脈硬化研究部 部: | 長 緒方 絢 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病の病態と臨床」 大阪大学 名誉教授・甲子園大学 | 生栄養学部 教授 | 西村 健 先生 |
| 第 11 回近畿 | | 1997(平成 9)年7月5日 | リーガロイヤル NCB |
| 特別講演 1 | 「アルツハイマー型痴呆研究の最近 大阪大学医学部神経科精神科 | の進歩」 教授 | 武田 雅俊 先生 |
| 特別講演 2 | 「脳血管性痴呆ービンスワンガー型 東京都老人医療センター神経内を | · · · · · = | 山之内 博 先生 |
| 特別講演3 | 「Treatable Dementia」 群馬大学医学部神経内科 教授 | | 岡本 幸市 先生 |
| 特別講演 4 | 「長寿医療のめざすもの」 国立中部病院・長寿医療研究セン 愛知県健康科学総合センター | | 井形 昭弘 先生 |

| 第 11 回中央 | 1997(平成 9)年 7 月 20 | 5 目 | 経団連 | 会館 |
|----------|--|---------|------|----|
| 演題 1 | 「脳虚血による細胞死」 大阪大学医学部第一内科 講師 | 松本 | :昌泰 | 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病の分子生物学-β アミロイド仮説を中心に」 岡崎国立共同研究機構生理学研究所神経化学研究部門 助教授 | 丸山 | 敬 | 先生 |
| 演題 3 | 「神経受容体機能の画像診断」 東北大学サイクロトロン RI センター核医学研究部 教授 | 伊藤 | 正敏 | 先生 |
| 演題 4 | 「早期発症型痴呆家系の臨床と遺伝子異常」 鹿児島大学医学部第三内科 講師 | 中川 | 正法 | 先生 |
| 演題 5 | 「パーキンソン病と痴呆」 鳥取大学医学部脳神経内科 教授 | 中島 | 健二 | 先生 |
| 演題 6 | 「パーキンソン病と抑うつ症状」 北海道大学医学部精神科神経科 教授 | 小山 | 司 | 先生 |
| 演題 7 | 「アルツハイマー型痴呆の病理診断基準」 東京都老人総合研究所神経病理研究部 部長 | 水谷 | 俊雄 | 先生 |
| 演題 8 | 「新しい痴呆診断スケール」 慶應義塾大学医学部精神神経科 助教授 | 鹿島 | ,晴雄 | 先生 |
| 特別講演 | 「 痴呆の診断マーカーと病態」 大阪大学医学部神経科精神科 教授 | 武田 | 雅俊 | 先生 |
| 第 11 回中部 | 1997(平成 9)年 10 月 18 日 名 | 3古屋 | :観光オ | テル |
| 演題 1 | 「慢性硬膜下血腫と痴呆 一脳の変形と局所血流からみた特徴について」 名古屋大学医学部脳神経外科 講師 | 稲尾 | :意秀 | 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病の分子病理」 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター 痴呆疾患研究部 部長 | 柳澤 | 勝彦 | 先生 |
| パネルディカ | ッション | | | |
| | 「脳血管性痴呆とアルツハイマー型痴呆の鑑別上の問題点」 | | | |
| | 「1. 脳血管性痴呆」 日本医科大学第二内科 教授 | 赤赤 | 彰郎 | 先生 |
| | 「2. アルツハイマー型痴呆」 東京大学医学部精神神経科 教授 | 松下 | 正明 | 先生 |

| 第 11 回東北 | 1997(平成 9)年 11 | 月8日 | 艮陵会館 |
|-----------|---|----------|-------|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病遺伝的リスクファクターの脳機能への関与 ーPET を用いた解析」 東北大学医学部老人科 | 樋口 | 真人 先生 |
| 演題 2 | 「MRI によるアルツハイマー病の画像解析」 岩手医科大学医学部放射線科 講師 | 佐々木 | 真理 先生 |
| 演題 3 | 「アルツハイマー病の免疫反応 ー補体 membrane attack 経路の活性化」 鎌田クリニック 院長 | 板垣 | 茂 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病研究の現状」 東京大学医学部附属脳研究施設脳病理部門 施設長・教授 | 井原 | 康夫 先生 |
| 特別講演 2 | 「老年期痴呆とライフスタイル」 高知医科大学 副学長 | 池田 | 久男 先生 |
| 特別講演 3 | 「 抗痴呆薬開発の現状」 伊豆韮山温泉病院 院長 | 長谷川 | 恒雄 先生 |
| 第 11 回北海道 | 1997(平成 9)年 11 月 22 | 日口 | イトン札幌 |
| 特別講演 1 | 「プリオン病」 東北大学医学部病態神経学 教授 | 北本 | 哲之 先生 |
| 特別講演 2 | 「脳ドックの現状と課題」 札幌医科大学医学部脳神経外科 教授 | 端 | 和夫 先生 |
| 特別講演3 | 「アルツハイマー病者の脳と心」 札幌医科大学医学部神経精神科 教授 | 髙畑 | 直彦 先生 |
| 特別講演 4 | 「老年期痴呆制圧をめざして」 国立中部病院・長寿医療研究センター 名誉院長 愛知県健康科学総合センター センター長 | 井形 | 昭弘 先生 |
| 第 11 回中・四 | 国 1998(平成 10)年 4 月 18 日 リーガ | ゙゙゙゚゚ゕゔル | ゼスト高松 |
| 演題 1 | 「 痴呆性老人の QOL について」 高知赤十字病院神経内科 部長 | 佐藤 | 博俊 先生 |
| 演題 2 | 「脳 卒中後意欲低下の評価と知的機能・臨床症状・脳血流変化」 島根医科大学第三内科 講師 | 岡田 | 和悟 先生 |
| 演題 3 | 「アルツハイマー病の分子遺伝学」 愛媛大学医学部老年医学 教授 | 三木 | 哲郎 先生 |
| 演題 4 | 「 潜在性脳梗塞とうつ病の関連について」 広島大学医学部精神科神経科 教授 | 山脇 | 成人 先生 |
| 特別講演 | 「神経細胞の死に方について」 東京大学医学部神経内科 教授 | 金澤 | 一郎 先生 |

| 第 12 回九州 | | 1998(平成 10)年 6月 20日 博多都ホテル |
|----------|--|------------------------------|
| 演題 1 | 「 大脳深部白質病変と脳循環代謝」 九州大学医学部第二内科 | 長尾 哲彦 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病老人斑と反応性ミクロ 単球遊走因子 MCP-1 の同定」 熊本大学医学部神経精神科 | コグリアにおける 石塚 公子 先生 |
| 演題3 | 「健常高齢者の白質病変の成因と知的機能 国立肥前療養所内科 医長 | 能に及ぼす影響」 八尾 博史 先生 |
| 特別講演 1 | 「前頭-側頭葉型痴呆の病態」 宮崎医科大学精神科 教授 | 三山 吉夫 先生 |
| 特別講演 2 | 「老年期痴呆とライフスタイル」 高知医科大学 学長 | 池田 久男 先生 |
| 第 12 回近畿 | 1998 (3 | 平成 10) 年 7 月 4 日 リーガロイヤル NCB |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病とミクログリア」 東京都精神医学総合研究所神経病理研 | · 究部門 副参事研究員 秋山 治彦 先生 |
| 特別講演 2 | 「進行性核上性麻痺の NMR 画像診断」 京都大学大学院医学研究科放射線医学 | : 講師 安里 令人 先生 |
| 特別講演 3 | 「Semantic Dementia (意味性痴呆) につい 愛媛大学医学部精神科神経科 教授 | Nて」 田邉 敬貴 先生 |
| 特別講演 4 | 「 著明な前頭葉萎縮を伴う運動ニューロン 関西医科大学神経内科 教授 | ン病」 日下 博文 先生 |
| 特別講演 5 | 「海馬の虚血性神経細胞死と近時記憶障害 金沢大学医学部脳神経外科 助教授 | 害」 山嶋 哲盛 先生 |

| 第 12 回中央 | 1998(平成 10) | 年7月25日 | 経団連会館 |
|----------|--|-----------------|---------|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病の新しい in vitro モデル開発の試み ークロロキン添加培養筋細胞における APP、PS-1 の処理過程の検討」 札幌医科大学医学部神経精神科 | 吉日 | 田 拓 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病の分子遺伝学 発病リスクファクターおよびプレセニリン遺伝子変勢 神戸大学医学部精神神経科 教授 | ≹」 前∈ | 田 潔 先生 |
| 演題 3 | 「 百寿者の脳・脊髄の病理所見」 愛知医科大学加齢医科学研究所 教授・所長 | 橋詞 | 吉 良夫 先生 |
| 演題 4 | 「島根県下の老人ホーム献体者の 17 年間の解剖調査」 島根医科大学精神科・神経科 教授 | 石里 | 野 博志 先生 |
| 演題 5 | 「認知機能障害群の予後と痴呆発症関連要因の疫学的検診 大分医科大学第三内科 助教授 | | 本 俊秀 先生 |
| 演題 6 | 「MRI によるアルツハイマー病の画像診断」 岩手医科大学医学部放射線科 講師 | 佐々ス | 木 真理 先生 |
| 演題 7 | 「3D-SPECT による Alzheimer 病の特異的診断 ー"inverted triangle" sign について」 慶應義塾大学医学部神経内科 講師 | 天野 | 野 隆弘 先生 |
| 演題 8 | 「抗 痴呆薬の効果評価法の国際的ハーモナイゼーションの 東京都老人総合研究所精神医学部門 研究部長 | D現況」 本[| 間 昭 先生 |
| 特別講演 | 「家族性痴呆症ー最近の知見ー」 国立精神・神経センター神経研究所疾病研究第六部 | 部長 田雪 | 平 武 先生 |
| 第 12 回中部 | 1998(平成 10)年 10月 17日 | ホテルナゴー | ヤキャッスル |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病の海馬病変: 孤発例と家族例での異種性について」 福井医科大学神経科精神科 助教授 | 福名 | 谷 祐賢 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病における AGE (advanced glycation endproduct) とその受容体」 名古屋大学医学部神経内科 教授 | 祖急 | 父江 元 先生 |
| 特別講演1 | 「 痴呆患者の対策としての入所施設の現状と今後のあり が 久幸会今村病院 理事長 | - | 千弥子 先生 |
| 特別講演 2 | 「 痴呆患者の問題行動とその解釈」 大阪大学医学部神経科精神科 教授 | 武E | 田 雅俊 先生 |

| 第 12 回北海道 | 1 | 1998(平成 10)年11月7日 | ロイトン | ⁄札幌 |
|-----------|--|----------------------|-------|-----|
| 演題 1 | 「老年期の嫉妬妄想と性的妄想について」 市立札幌病院静療院 医長 | 安 | 计田 素次 | 先生 |
| 演題 2 | 「ダウン症候群における認知障害 ーアルツハイマー病の早期診断との関 札幌医科大学医学部神経精神科 | · — • | 野 倫仁 | 先生 |
| 演題 3 | 「牛の海綿状脳症をめぐる動き」 北海道大学医療技術短期大学部衛生技術 | 析学科 教授 中 村 | 一志夫 | 先生 |
| 演題 4 | 「人 Prion 病の臨床ーとくに Creutzfeldt-Ja 手稲渓仁会病院神経内科 医長 | | 場 淑子 | 先生 |
| 特別講演1 | 「 緩徐進行性失行:症候、画像、病理」 昭和大学医学部神経内科 助教授 | 河 | 「村 満 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「老化・廃用型痴呆の実態」 浜松医療センター 副院長 | 金 | :子 満雄 | 先生 |
| 第 12 回東北 | | 1998(平成 10)年 11 月 14 | 日 艮陵 | 会館 |
| 演題 1 | 「無症候性脳梗塞と肺炎の発症」 東北大学医学部老人科 | # | 川 琢磨 | 先生 |
| 演題 2 | 「セルロプラスミン欠損症と痴呆」 山形大学医学部第三内科 教授 | זל | □藤 丈夫 | 先生 |
| 教育講演 | 「無症候性脳梗塞の画像診断と脳実質内血 秋田県立脳血管研究センター放射線医療 研究局長・部長 | 学研究部 | 上寺 利男 | 先生 |
| 特別講演 1 | 「プリオン病に関して」 東北大学医学部病態神経学 教授 | الد | 太 哲之 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「びまん性レビー小体病の臨床と病理」 横浜市立大学医学部神経科 教授 | /]· | 阪 憲司 | 先生 |
| 特別講演 3 | 「 脳血管性痴呆」 浴風会病院 院長 | * | :友 英一 | 先生 |
| 第 12 回中・四 | 国 1999(平 | 成 11) 年 4 月 17 日 岡山口 | イヤルホ | テル |
| 演題 1 | 「ハンチントン病の分子疫学的検討 一山陰地方における頻度と創始者効果 鳥取大学医学部脳神経内科 講師 | - | 立 芳樹 | 先生 |
| 演題 2 | 「Creutzfeldt-Jacobb 病の画像診断」 山口大学医学部神経内科 講師 | 根 | !来 清 | 先生 |
| 演題 3 | 「 家族性アルツハイマー病の原因と病態」 岡山大学医学部神経内科 教授 | <u>Ģ</u> ā | 「部 康二 | 先生 |
| 特別講演1 | 「介護保険法における簡易痴呆診断法」 東京都老人総合研究所精神医学部門 み | 研究部長 本 | 間昭 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「介護保険制度の準備状況 - 痴呆への対応 厚生省老人保健福祉局介護保険制度施行 | - | 浦 公嗣 | 先生 |

| 第 13 回中央 | 1999(平成 11)年7月 | 24 日 経団連会館 |
|----------|--|------------|
| 演題 1 | 「PET とノックアウトマウスを用いた受容体機能の解析」 東北大学医学系大学院病態薬理学 教授 | 谷内 一彦 先生 |
| 演題 2 | 「加齢に伴う脳波変化ーα 波伝播からみた左右差」 大阪大学医学部神経科精神科 助教授 | 篠崎 和弘 先生 |
| 演題 3 | 「Alzheimer 病と RAGE (receptor for advanced glycation endproducts)」 札幌医科大学医学部神経精神科 | 佐々木 信幸 先生 |
| 演題 4 | 「アルツハイマー病における AGE (advanced glycation endproduct) とその受容体」 名古屋大学医学部神経内科 | 若井 正一 先生 |
| 演題 5 | 「ハンチントン病の疫学調査と遺伝子多型の検討」 鳥取大学医学部脳神経内科 講師 | 足立 芳樹 先生 |
| 演題 6 | 「 ビンスワンガー型白質脳症の成因-実験的白質病変」 日本医科大学第二内科 | 上田 雅之 先生 |
| 演題 7 | 「地域在住健常高齢者の 深部白質病変の成因と知的機能に及ぼす影響」 国立肥前療養所内科 医長 | 八尾 博史 先生 |
| 演題 8 | 「 神経原線維変化型老年痴呆」 東京医科歯科大学医学部神経内科 助教授 | 山田 正仁 先生 |
| 特別講演 | 「神経細胞死に対する新しい治療ー神経保護・修復療法」 岡山大学医学部分子細胞医学研究施設神経情報学部門 教授 | 小川 紀雄 先生 |
| 第 13 回東北 | 1999(平成 11)年 11 | 月13日 艮陵会館 |
| 演題 1 | 「アルツハイマー病の Activation Study」 東北大学医学部老年・呼吸器内科 | 岡村 信行 先生 |
| 演題 2 | 「ポジトロン CT による アセチルコリン受容体のイメージングと定量的測定」 秋田県立脳血管研究センター放射線医学研究部 主任研究員 | 高橋 和弘 先生 |
| 演題 3 | 「主観的輪郭消失による視覚型アルツハイマー病の検出」 東北大学医学部高次機能障害学 | 平山 和美 先生 |
| 教育講演 | 「秋田県脳卒中発症登録における発症の特徴とその転帰 一疫学的立場から」 秋田県立脳血管研究センター疫学研究部 部長 | 鈴木 一夫 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー型痴呆の 予防と治療に関するエストロゲン補充療法について」 獨協医科大学越谷病院産科婦人科 教授 | 大藏 健義 先生 |
| 特別講演 2 | 「 少子高齢化社会と介護保険」 東北大学医学部老年・呼吸器内科 教授 | 佐々木 英忠 先生 |
| 特別講演3 | 「老年期痴呆治療のストラテジー」 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター 院長 | 柳澤 信夫 先生 |

| 第 13 回北海道 | 199 | 9(平成 11)年 11月 20日 | コイトン札口 | 幌 |
|-----------|--|-----------------------------|---------|----|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病と酸化的ストレス」 旭川医科大学精神科神経科 | 布 | 村 明彦 先: | 生 |
| 演題 2 | 「老人斑と反応する AM34 の対応抗原の解析 札幌医科大学医学部第一内科 講師 | · · = | 東 文生 先: | 生 |
| 教育講演1 | 「 痴呆患者に対する地域ケア」 北海道大学医学部附属病院総合診療部 | 教授 前 | 尺 政次 先: | 生 |
| 教育講演 2 | 「内科疾患と痴呆」 札幌医科大学医学部神経内科 教授 | 松 | 本 博之 先: | 生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー型痴呆の治療における抗疾 東京都老人総合研究所精神医学部門 研 | ロ 呆薬の臨床的意義」 究部長 本 | 間 昭先: | 生 |
| 特別講演 2 | 「びまん性レビー小体病の最近の話題」 横浜市立大学医学部神経科 教授 | 小 | 阪 憲司 先: | 生 |
| 特別講演3 | 「意識障害と痴呆の相関に関する考察」 大阪医科大学脳神経外科 教授 | 太 | 田 富雄 先 | 生 |
| 第 13 回九州 | 20 | 000(平成 12)年 6 月 24 日 | アクロス福 | 岡 |
| 演題 1 | 「 頸動脈病変と高次脳機能」 国立病院九州医療センター脳血管内科 | 科長 鴨: | 打 正浩 先: | 生 |
| 演題 2 | 「Advanced Glycation End Products (AGE) 熊本大学医学部神経精神科 | | 村 武実 先: | 生 |
| 演題3 | 「アルコールと脳障害」 国立肥前療養所神経科 医長 | 杠 | 岳文 先: | 生 |
| 特別講演 1 | 「高血圧と痴呆」 九州大学 名誉教授 | 藤 | 島 正敏 先: | 生 |
| 特別講演 2 | 「記憶障害の臨床」 東北大学大学院医学系研究科障害科学専 高次機能障害学分野 教授 | 攻 山 <i>,</i> | 鳥 重先: | 生 |
| 第 13 回近畿 | 2000(平成 12)年7月8日 | グランキューブ大阪(大阪 | 国際会議場 | 易) |
| 特別講演1 | 「レビー小体型痴呆をめぐって」 横浜市立大学医学部神経科 教授 | 小 | 阪 憲司 先: | 生 |
| 特別講演 2 | 「 多系統萎縮症の最近の知見」 大阪市立十三市民病院内科 副部長 | ф: | 村 慎一 先: | 生 |
| 特別講演3 | 「Alzheimer 病と動脈硬化および脳虚血」 住友病院神経内科 主任部長 | 宇高 | 不可思 先: | 生 |
| 特別講演 4 | 「CADASIL の特徴とその診断」 京都大学医学研究科高次脳科学講座認知 | 行動脳科学領域 西 . | 尾 健資 先 | 生 |

| 第 14 回中央 | 2000(平成 12)年 7 | 月 29 日 経団連会館 |
|-----------|--|--------------------|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病脳における酸化的傷害とアミロイド β 沈清 旭川医科大学医学部精神科神経科 講師 | 雪」 布村 明彦 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー型痴呆とフリーラジカル」 岩手医科大学医学部神経内科 助教授 | 阿部 隆志 先生 |
| 演題 3 | 「アルツハイマー病と COX-2」 慶應義塾大学医学部神経内科 | 野川 茂 先生 |
| 演題 4 | 「 タウオパチーの細胞病理」 東京大学大学院医学系研究科神経病理 | 山崎 恒夫 先生 |
| 演題 5 | 「ストレスと老化」 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター 老化機構研究部 研究部長 | 磯部 健一 先生 |
| 演題 6 | 「リガンド依存型転写因子による神経細胞死抑制について」 京都大学医学部附属病院神経内科 | 澤田 秀幸 先生 |
| 演題 7 | 「 老年期痴呆の遺伝子変異と臨床例」 岡山大学医学部神経内科 教授 | 阿部 康二 先生 |
| 演題 8 | 「Advanced Glycation End Products (AGE) 構造体の脳内分布」 熊本大学医学部神経精神科 | 木村 武実 先生 |
| 特別講演 | 「非アルツハイマー型変性痴呆をめぐって」 横浜市立大学医学部神経科 教授 | 小阪 憲司 先生 |
| 第 13 回中部 | 2000(平成 12)年 10 月 14 日 愛 | を 知芸術文化センター |
| 演題 1 | 「記憶の障害とその治療に関する基礎研究」 富山医科薬科大学医学部第二生理学 助教授 | 田村 了以 先生 |
| 演題 2 | 「神経免疫疾患と痴呆」 岐阜大学医学部高齢医学講座 教授 | 犬塚 貴 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病の分子病態:遺伝子からのアプローチ」 東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学 教授 | 岩坪 威 先生 |
| 特別講演 2 | 「一般住民における痴呆一久山町研究から」 九州大学 名誉教授 | 藤島 正敏 先生 |
| 第 13 回中•四 | 2001(平成 13)年 4 月 21 日 | リーガゼスト高松 |
| 演題 1 | 「中山町高齢者健康調査について」 愛媛大学医学部精神科神経科 | 牧 徳彦 先生 |
| 演題 2 | 「脳血管障害と痴呆」 山口大学医学部脳神経外科 教授 | 鈴木 倫保 先生 |
| 演題 3 | 「アミロイド前駆体蛋白遺伝子変異による 家族性アルツハイマー病について」 鳥取大学医学部脳神経内科 | 涌谷 陽介 先生 |
| 特別講演1 | 「脊髄小脳変性症の病態機序ー治療法の開発への展望」 新潟大学脳研究所神経内科 教授 | 辻 省次 先生 |
| 特別講演 2 | 「高齢者の神経心理学」 東京女子医科大学附属脳神経センター 所長 | 岩田 誠 先生 |

| 第 15 回中央 | 2001 | (平成13)年7月2 | 8 目 | 経団連 | 会館 |
|----------|--|----------------|------|-----|----|
| 演題1 | 「 痴呆脳におけるグリア細胞の病理」 弘前大学医学部脳神経血管病態研究施設 分子病態部門 教授 | | 若林 | 孝一 | 先生 |
| 演題 2 | 「 老年痴呆における情報伝達系の変化」 札幌医科大学医学部神経精神科 講師 | | 橋本 | 恵理 | 先生 |
| 演題 3 | 「トランスジェニックマウスを用いた アルツハイマー病発症機序の解析」 群馬大学医学部神経内科 非常勤講師 | | 瓦林 | 毅 | 先生 |
| 演題 4 | 「海馬体損傷による記憶障害」 富山医科薬科大学医学部第二生理学 助教授 | | 田村 | 了以 | 先生 |
| 演題 5 | 「 痴呆と遂行機能障害」 慶應義塾大学医学部精神神経科 教授 | | 鹿島 | 晴雄 | 先生 |
| 演題 6 | 「アルツハイマー病の発症機序とリスク遺伝子」 大阪大学医学部神経科精神科 | | 紙野 | 晃人 | 先生 |
| 演題 7 | 「脳血管性うつ病の最近の話題から」 広島大学医学部精神科神経科 教授 | | 山脇 | 成人 | 先生 |
| 演題 8 | 「アルコールと脳障害」 国立肥前療養所神経科 医長 | | 杠 | 岳文 | 先生 |
| 特別講演 | 「脳血管障害と痴呆ー久山町研究」 九州大学 名誉教授 | | 藤島 | 正敏 | 先生 |
| 第 14 回東北 | 200 | 1(平成 13)年 11 月 | 10 日 | 艮陵 | 会館 |
| 演題 1 | 「無症候性脳梗塞と知的機能:地域住民の調査」 山形大学医学部第三内科 | | 斉藤 | 保 | 先生 |
| 演題 2 | 「もの忘れ外来で行われていること」 福島県立医科大学医学部神経精神科 助教授 | | 田子 | 久夫 | 先生 |
| 演題 3 | 「レビー小体を伴う痴呆の視覚認知障害と精神症 秋田県立リハビリテーション・精神医療セン リハビリテーション科 | | 下村 | 辰雄 | 先生 |
| 教育講演 | 「健康寿命の国際比較」 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 | 助教授 | 辻 | 一郎 | 先生 |
| 特別講演1 | 「ここまできた老年期痴呆研究」 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター | センター長 | 田平 | 武 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病とミレニアム・ヒトゲノムフ 東京大学大学院医学系研究科神経内科学 教 | | 金澤 | 一郎 | 先生 |
| 特別講演3 | 「脳梗塞の病態と治療戦略」 慶應義塾大学医学部神経内科 教授 | | 福内 | 靖男 | 先生 |

| 第 14 回北海道 | 2001(平成 13)年 11 月 17 日 北海道: | 大学学術交流会館 |
|-----------|--|------------|
| 演題 1 | 「レビー小体型痴呆の臨床と病理ー典型例と非典型例」 北海道大学大学院医学研究科分子細胞病理学 | 山本 晋 先生 |
| 演題 2 | 「特異な臨床病像を呈した Gerstmann-Sträussler-Scheinker 病の1例」 北海道大学医学部附属病院精神科神経科 | 髙橋 義人 先生 |
| 教育講演1 | 「アミロイドによる神経細胞死に関する研究: アミロイド前駆体蛋白質による細胞死誘導」 旭川医科大学医学部生命科学 教授 | 林 要喜知 先生 |
| 教育講演 2 | 「Leukoaraiosis-画像所見と発生機序について」 札幌医科大学医学部脳神経外科学講座 助教授 | 田邊 純嘉 先生 |
| 特別講演1 | 「前方型痴呆」 愛媛大学医学部神経精神医学講座 教授 | 田邉 敬貴 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年期うつ病の特性一診断と治療の視点から」 獨協医科大学 学長 | 大森 健一 先生 |
| 第 14 回九州 | 2002(平成 14)年 6月 22 | 日 アクロス福岡 |
| 演題 1 | 「 久山町痴呆調査のその後」 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 | 谷崎 弓裕 先生 |
| 演題 2 | 「在宅高齢者脳健診における認知障害と画像所見 一痴呆の予防をめざして」 国立肥前療養所臨床研究部 | 古賀 寛 先生 |
| 演題 3 | 「 前頭側頭型痴呆における遺伝子解析」 九州大学医学部附属病院精神科 | 尾籠 晃司 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病と血管因子」 国立舞鶴病院 院長 | 中島 健二 先生 |
| 特別講演 2 | 「レビー小体型痴呆をめぐって」 横浜市立大学医学部神経科 教授 | 小阪 憲司 先生 |
| 第 14 回近畿 | 2002(平成 14)年7月6日 リー | ーガロイヤル NCB |
| 特別講演 1 | 「Dementia with Lewy bodies (DLB): 臨床症候群として」 新潟医療福祉大学医療技術学部言語聴覚学科 助教授 | 今村 徹 先生 |
| 特別講演 2 | 「脳機能画像によるアルツハイマー病の病態」 京都大学医学研究科附属高次脳機能総合研究センター 教授 | 福山 秀直 先生 |
| 特別講演3 | 「アルツハイマー病の分子病態」 大阪大学大学院医学系研究科神経機能医学 教授 | 武田 雅俊 先生 |
| 特別講演 4 | 「アルツハイマー病と血管因子」 国立舞鶴病院 院長 | 中島 健二 先生 |

| 第 16 回中央 | 2002(平成 14)年7月2 | 27日 経団連会館 |
|----------|--|---------------|
| 演題 1 | 「 地域住民における老年期痴呆の悉皆調査:久山町研究」 九州大学医学部附属病院第二内科 講師 | 清原 裕 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病の遺伝的危険因子」 広島大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学 講師 | 川上 秀史 先生 |
| 演題 3 | 「アルツハイマー病の危険因子としての ミトコンドリアアルデヒド脱水素酵素欠損」 日本医科大学老人病研究所生化学部門 教授 | 太田 成男 先生 |
| 演題 4 | 「アルツハイマー型老年痴呆の MRI における PVH」 浴風会病院 副院長 | 吉田 亮一 先生 |
| 演題 5 | 「加齢とパーキンソン病の記憶機能-事象関連電位を用いた検討」 兵庫医科大学総合内科学講座神経部門 助教授 | l 立花 久大 先生 |
| 演題 6 | 「老年期痴呆の治療ターゲットとしてのミクログリア」 藤田保健衛生大学総合医科学研究所 難病治療共同研究部門 教授 | 澤田 誠 先生 |
| 演題 7 | 「αーシヌクレインと神経変性」 東北大学大学院医学系研究科神経科学講座神経内科学分野 | 武田 篤 先生 |
| 演題 8 | 「人間らしさをつくる前頭連合野」 北海道大学大学院医学研究科 神経機能学講座機能分子学分野 教授 | 澤口 俊之 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病原因遺伝子発現下の神経細胞死と生存」 慶應義塾大学医学部薬理学 教授 | 西本 征央 先生 |
| 第 14 回中部 | 2002(平成 14)年 10 月 19 日 愛知 | 芸術文化センター |
| 教育講演 1 | 「住民検診データからみた加齢と認知機能について」 名古屋大学大学院環境学研究科心理学講座 教授 | 八田 武志 先生 |
| 教育講演 2 | 「虚血性神経細胞死克服のための新戦略」 金沢大学大学院医学系研究科 脳医科学神経分子標的学 教授 | 小川 智 先生 |
| 特別講演1 | 「軽度認知機能障害と痴呆症の早期診断」 東北大学医学部老年・呼吸器内科 助教授 | 荒井 啓行 先生 |
| 特別講演 2 | 「非アルツハイマー型変性痴呆 一神経原線維変化型老年痴呆を中心に」 金沢大学大学院医学系研究科 脳老化・神経病態学(神経内科学) 教授 | 山田 正仁 先生 |
| 特別講演 3 | 「アルツハイマー病への治療戦略」 国立療養所中部病院・長寿医療研究センター センター長 | 田平 武 先生 |

| 第 14 回中・四 | 国国 2003(平成 15)年 4 月 19 日 岡 | 山コンベンションセンター |
|-----------|---|--------------|
| 演題 1 | 「アルツハイマー病動物モデルによる治療法開発」 岡山大学大学院医歯学総合研究科神経病態内科学 | 松原 悦朗 先生 |
| 演題 2 | 「前頭葉機能評価としての事象関連電位」 島根医科大学第三内科 講師 | 卜蔵 浩和 先生 |
| 演題3 | 「アルツハイマー病の物盗られ妄想について」 愛媛大学医学部神経精神医学 助教授 | 池田 学 先生 |
| 演題 4 | 「再生医学の立場からみたパーキンソン病」 岡山大学大学院医歯学総合研究科神経病態外科学 教 | 授 伊達 勲 先生 |
| 特別講演1 | 「食事栄養による痴呆の予防」 自治医科大学附属大宮医療センター神経内科 教授 | 植木 彰 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病の早期診断と分子病態」 大阪大学大学院医学系研究科 ポストゲノム疾患解析学 教授 | 武田 雅俊 先生 |

| 第 17 回中央 | 2003 (平成 15) 年 7 月 | 26日 経団連会館 |
|----------|---|-----------|
| 演題 1 | 「γセクレターゼ複合体の形成と機能」 東京大学大学院薬学系研究科臨床薬学 教授 | 岩坪 威 先生 |
| 演題 2 | 「アルツハイマー病の分子病態と治療薬開発の展望」 国立長寿医療研究センター痴呆疾患研究部 部長 | 柳澤 勝彦 先生 |
| 演題 3 | 「一般住民でのレビー小体病理所見有病率の検討:久山町研究」 九州大学大学院医学研究院神経病理学 | 脇坂 義信 先生 |
| 演題 4 | 「CJD における神経画像所見と神経病理所見の検討」 山口大学医学部脳神経病態学 助教授 | 根来 清 先生 |
| 演題 5 | 「高齢者の慢性めまい感と認知機能障害 一脳磁図上の異常について」 国立循環器病センター内科脳血管部門 部長 | 成冨 博章 先生 |
| 演題 6 | 「一 過性全健忘の臨床的検討」 中村記念病院神経内科 医長 | 仁平 敦子 先生 |
| 演題 7 | 「MCI と痴呆症の早期診断」 東北大学医学部附属病院老年・呼吸器内科 助教授 | 荒井 啓行 先生 |
| 演題 8 | 「アルツハイマー病の神経心理学」 慶應義塾大学医学部精神神経科学 助教授 | 加藤 元一郎 先生 |
| 特別講演 | 「初老期アルツハイマー病の 病因・病態解明を目指した臨床的アプローチ」 順天堂大学医学部精神医学 教授 | 新井 平伊 先生 |

| 第 15 回北海道 | 2003 (平成 15)年 11 月 8 日 札軸 | 晃市教育文化会館 |
|-----------|---|-----------|
| 演題 1 | 「高次脳機能の画像化とその臨床応用」 東京大学医学部附属病院脳神経外科 | 鎌田 恭輔 先生 |
| 演題 2 | 「 痴呆性疾患にみられる行為・動作の障害」 北海道医療大学看護福祉学部 教授 | 中川 賀嗣 先生 |
| 演題 3 | 「外傷性脳損傷の高次脳機能障害」 北海道大学大学院医学研究科リハビリテーション医学 助教授 | 生駒 一憲 先生 |
| 教育講演 | 「 痴呆の行動異常とせん妄」 札幌デイ・ケアセンター 所長 | 高橋 三郎 先生 |
| 特別講演1 | 「高齢者に対する癒しの環境」 日本医科大学医療管理学 助教授 | 髙柳 和江 先生 |
| 特別講演 2 | 「痴呆性高齢者に対する医療と介護 ーきのこエスポアール病院での経験を通じて」 きのこエスポアール病院 理事長・病院長 | 佐々木 健 先生 |
| 第 15 回東北 | 2003 (平成 15)年 11 月 | 15 日 艮陵会館 |
| 話題提供1 | 「 痴呆の漢方療法ー最近の知見から」 東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学 助教授 | 岩崎 鋼 先生 |
| 話題提供2 | 「痴呆とリハビリテーション」 東北大学大学院医学系研究科肢体不自由学分野 教授 | 出江 紳一 先生 |
| 教育講演1 | 「 痴呆患者にみられる睡眠障害―特に幻視との関係」 秋田大学医学部神経運動器学講座精神科学分野 教授 | 清水 徹男 先生 |
| 教育講演 2 | 「老年期痴呆の心のケアをめざして一神経心理学的視点から」 専修大学経済学部・大学院文学研究科 教授 | 宮森 孝史 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病と A β 代謝」 理化学研究所脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム 副チームリーダー | 岩田 修永 先生 |
| 特別講演 2 | 「 痴呆症の前駆状態 (MCI) の診断とその問題点」 筑波大学臨床医学系精神医学 教授 | 朝田 隆 先生 |
| 第 15 回九州 | 2004(平成 16)年 6月 12 目 | 日 アクロス福岡 |
| 演題 1 | 「 久山町住民でのレビー小体型痴呆病理所見の頻度」 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 | 脇坂 義信 先生 |
| 演題 2 | 「Vascular cognitive impairment における前頭葉機能障害」 九州大学大学院医学研究院精神病態医学 | 古賀 寛 先生 |
| 演題 3 | 「本邦 CADASIL 例の臨床像と MRI 所見」 熊本大学大学院医学薬学研究部神経内科学分野 | 平野 照之 先生 |
| 特別講演1 | 「 痴呆症前駆状態の診断と介護予防」 筑波大学臨床医学系精神医学 教授 | 朝田 隆 先生 |
| 特別講演 2 | 「初老期アルツハイマー病の病態とその臨床」 順天堂大学医学部精神医学 教授 | 新井 平伊 先生 |

| 第 15 回近畿 | 2004(平成 16)年7月3日 リ | ーガロイヤル NCB |
|----------|---|-------------|
| 特別講演 1 | 「Aβ 沈着とミクログリア」 東京都精神医学総合研究所老年期精神疾患研究部門 部門長 | 秋山 治彦 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病におけるベータアミロイドのクリアランス機 滋賀医科大学分子神経科学研究センター 神経遺伝子解析分野 教授 | 構」 遠山 育夫 先生 |
| 特別講演3 | 「無症候性脳血管病変と炎症機転」 大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学 講師 | 北川 一夫 先生 |
| 特別講演 4 | 「頸動脈病変による脳卒中の診断と治療」 名古屋市立大学大学院医学研究科脳神経外科 教授 | 山田 和雄 先生 |
| 特別講演 5 | 「脳梗塞の一次・二次予防」 国立循環器病センター 名誉総長 | 山口 武典 先生 |
| 第 18 回中央 | 2004(平成 16)年7月 | 24 日 経団連会館 |
| 地区推薦講演 1 | 「 痴呆性疾患の失語・失行・失認症状」 北海道医療大学看護福祉学部 教授 | 中川 賀嗣 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「 痴呆と徘徊」 下総精神医療センター臨床研究部 部長 | 堀 宏治 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「アルツハイマー病の物盗られ妄想について」 愛媛大学医学部神経精神医学 助教授 | 池田 学 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「脳を知り脳を守る一学習療法による痴呆のケア」 東北大学未来科学技術共同研究センター 教授 | 川島 隆太 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「神経変性とユビキチンプロテアーゼ」 名古屋大学大学院医学系研究科神経内科 教授 | 祖父江 元 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「食生活とアルツハイマー病」 自治医科大学附属大宮医療センター神経内科 教授 | 植木 彰 先生 |
| 地区推薦講演7 | 「本邦における CADASIL 並びに類似疾患の臨床解析」 熊本大学大学院医学薬学研究部神経内科学分野 教授 | 内野 誠 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「 痴呆疾患治療のガイドラインについて」 洛和会 京都臨床治験センター 所長 | 中村 重信 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病研究のこの 10 年間の進歩」 東京大学大学院医学系研究科神経病理学 教授 | 井原 康夫 先生 |

| 第 15 回中部 | 2004(平成 16)年 10 月 16 日 | ヨ 第二豊田ホール |
|--------------|--|-----------|
| 教育講演1 | 「神経心理学・機能画像からみた痴呆の精神・行動異常」 名古屋市立大学医学部精神科 講師 | 仲秋 秀太郎 先生 |
| 教育講演 2 | 「 傍腫瘍性辺縁系脳炎の病態と治療」 金沢医科大学神経内科 助教授 | 酒井 宏一郎 先生 |
| 教育講演 3 | 「かつて早発性痴呆と呼ばれた統合失調症は、 今どこまでわかっているのか」 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学 教授 | 尾崎 紀夫 先生 |
| 特別講演 1 | 「Aβ代謝とアルツハイマー病」 理化学研究所脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム チームリーダー | 西道 隆臣 先生 |
| 特別講演 2 | 「脳神経疾患の病診連携一脳卒中を中心に」 熊本市立熊本市民病院神経内科 部長 | 橋本 洋一郎 先生 |
| 特別講演3 | 「アルツハイマー病のクリティカルパスー診断と治療のために」 順天堂大学医学部精神医学 教授 | 新井 平伊 先生 |
| 第 15 回中・四 | 2005(平成 17)年4月9日 | かがわ国際会議場 |
| 教育講演 1 | 「アミロイド β 蛋白蓄積における Lipid rafts の役割」 岡山大学大学院医歯学総合研究科神経病態内科学 | 瓦林 毅 先生 |
| 教育講演 2 | 「痴呆と自動車運転」 高知大学医学部神経統御学講座神経精神病態医学教室 講師 | 上村 直人 先生 |
| 教育講演3 | 「顔と名前の記憶想起に関する機能的 MRI」 島根大学医学部神経・血液・膠原病内科 | 高橋 一夫 先生 |
| 教育講演 4 | 「レビー小体型痴呆の精神症状」 | |
| 2011 HI DV . | 愛媛大学医学部神経精神医学 | 福原 竜治 先生 |

| 第 19 回中央 | 2005(平成 17)年7月 | 23 日 経団連会館 |
|-----------|--|------------|
| 地区推薦講演 1 | 「アルツハイマー病研究における、ブレインバンクの意義」 東京都老人総合研究所老年病脳ゲノム(神経病理) 参事研究員 | 村山 繁雄 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「紀伊半島の ALS・Parkinsonism・Dementia 症候群」 三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学分野 教授 | 葛原 茂樹 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「秋田県でみられた Creutzfeldt-Jakob 病」 秋田県立脳血管研究センター病理学研究部 部長 | 吉田 泰二 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「Gerstmann-Straussler-Scheinker 症候群の臨床像と早期診断」 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経内科・老年病学 | 髙嶋 博 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「海馬における神経細胞新生と加齢」 北海道大学大学院医学研究科神経機能学講座精神医学分野 | 中川 伸 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「注意・記憶機能における前頭葉の役割」 島根大学医学部神経・血液・膠原病内科 助教授 | 山口 修平 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「特発性正常圧水頭症の認知機能障害」 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学 | 数井 裕光 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「 痴呆における記憶障害のリハビリテーション 」 昭和大学医学部精神医学 助教授 | 三村 將 先生 |
| 特別講演 | 「老人病院のめざすもの」 医療法人社団慶成会よみうりランド慶友病院 院長 慶應義塾大学医学部 客員教授(神経内科) | 厚東 篤生 先生 |
| 第 16 回北海道 | 2005(平成 17)年 10月 15日 | KKR ホテル札幌 |
| 教育講演 1 | 「中空知地区における 『もの忘れ専門外来』の現状と課題について」 砂川市立病院精神神経科 医長 | 内海 久美子 先生 |
| 教育講演 2 | 「老年期精神障害と第二世代抗精神病薬」 北海道大学大学院医学研究科精神医学分野 講師 | 久住 一郎 先生 |
| 教育講演 3 | 「高次脳機能障害とリハビリテーション」 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学 教授 | 石合 純夫 先生 |
| 特別講演 1 | 「アルツハイマー病の免疫療法」 国立長寿医療センター研究所 所長 | 田平 武 先生 |
| 特別講演 2 | 「二つの視点から理解する認知症」 認知症介護研究・研修東京センター センター長 聖マリアンナ医科大学 名誉教授 | 長谷川 和夫 先生 |

| 第 16 回東北 | 2005(平成 17)年 11 | 月 19 日 | 艮陵 | 会館 |
|--------------|--|--------|-----|-----|
| 教育講演 1 | 「 硬膜動静脈シャントによる痴呆:早期診断・早期手術の重要性 財団法人広南会広南病院脳神経外科 部長 | | 宏明 | 先生 |
| 教育講演 2 | 「 老年期痴呆の超高磁場 MRI」 岩手医科大学医学部神経内科学 助教授 | 高橋 | 智 | 先生 |
| 教育講演3 | 「高血圧と認知機能」 国立病院機構肥前精神医療センター臨床研究部 | 八尾 | 博史 | 先生 |
| 特別講演 1 | 「脳の循環障害と神経細胞機能障害ー痴呆との関連において」 岡山大学大学院医歯学総合研究科神経病態内科学 教授 | 阿部 | 康二 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「ヒトミでわかる痴呆症」 愛媛大学医学部神経精神医学 教授 | 田邉 | 敬貴 | 先生 |
| 第 16 回九州 | 2006(平成 18)年 6 月 10 日 福岡県中 | 小企業振 | 興セン | ター |
| 教育講演 1 | 「 久山町痴呆研究:痴呆群と健常群の境界線」 九州大学大学院医学研究院神経病理学分野 | 佐々木 | 健介 | 先生 |
| 教育講演 2 | 「前方型認知症の画像・病理所見」 社団法人八日会大悟病院老年期精神疾患センター | 井上 | 輝彦 | 先生 |
| 教育講演 3 | 「内科領域の痴呆とその診断の要点」 国立病院機構福岡東医療センター 脳血管・神経センター 統括診療部長 | 長尾 | 哲彦 | 先生 |
| 特別講演1 | 「 痴呆性疾患の分子イメージング」 浜松医科大学脳神経外科学 教授 | 難波 | 宏樹 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症を伴う運動ニューロン疾患」 群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学 教授 | 岡本 | 幸市 | 先生 |
| 第 16 回近畿 | 2006(平成 18)年7月8日 リ | ーガロイ | ヤル] | NCB |
| 特別講演 1 | 「 認知症に伴う精神症状問題行動に対する薬物療法」 大阪大学大学院医学系研究科精神医学 助教授 | 工藤 | 喬 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症高齢者の自動車運転」 愛媛大学大学院医学系研究科脳とこころの医学 助教授 | 池田 | 学 | 先生 |
| 特別講演 3 | 「認知症と血管性要因」 京都府立医科大学大学院医学研究科神経病態制御学 教授 | 中川 | 正法 | 先生 |
| 特別講演 4 | 「 認知症の脳機能画像」 大阪大学大学院医学系研究科核医学 教授 | 畑澤 | 順 | 先生 |
| 特別講演 5 | 「遺伝子から探るパーキンソン病の分子病態」 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 教授 | 髙橋 | 良輔 | 先生 |

| 第 20 回中央 | 2006(平成 18)年 7 月 | 22 日 経団連会館 |
|----------|--|------------|
| 地区推薦講演 1 | 「神経伝達機能からみたアルツハイマー病」 東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学 助教授 | 古川 勝敏 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「FTDP-17 の神経病理」 慶應義塾大学医学部法医学 講師 | 高尾 昌樹 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「神経変性疾患とオルガネラ」 大阪大学大学院医学系研究科精神医学 助教授 | 工藤 喬 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「認知症を起こす神経疾患の画像診断」 群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学 助教授 | 田中 真 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「糖尿病における認知機能障害」 名古屋大学大学院医学系研究科老年科学 | 梅垣 宏行 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「アルツハイマー病における空間性注意障害」 札幌医科大学医学部リハビリテーション医学 教授 | 石合 純夫 先生 |
| 地区推薦講演7 | 「 痴呆と自動車運転-現状と課題」 高知大学医学部神経精神科学教室 講師 | 上村 直人 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「成人白質脳症の臨床」 佐賀大学医学部内科学講座 教授 | 黒田 康夫 先生 |
| 特別講演 | 「創造の脳機構」 東京女子医科大学 医学部長・神経内科 主任教授 | 岩田 誠 先生 |
| 第 16 回中部 | 2006(平成 18)年 10 月 14 日 愛知 | 知芸術文化センター |
| 教育講演 1 | 「特発性正常圧水頭症の診断」 大阪大学大学院医学系研究科精神医学 講師 | 数井 裕光 先生 |
| 教育講演 2 | 「アルツハイマー病患者の脳脊髄液は βアミロイド線維形成を促進するか」 金沢大学大学院医学系研究科脳老化・神経病態学(神経内科) | 小野 賢二郎 先生 |
| 教育講演 3 | 「アルツハイマー病:治療法におけるあらたな展開」 弘前大学医学部附属脳研神経統御部門 教授 | 東海林 幹夫 先生 |
| 特別講演 1 | 「地域における軽度認知障害 (MCI) への対処: 大崎一田尻プロジェクト」 東北大学大学院医学系研究科高齢者高次脳医学 教授 | 目黒 謙一 先生 |
| 特別講演 2 | 「非アルツハイマー型変性認知症における精神症状について」 信州大学医学部精神医学 教授 | 天野 直二 先生 |
| 特別講演 3 | 「栄養学的アプローチによる アルツハイマー病の病態解明と予防・治療への応用」 | |

| 第 16 回中・四 | 国 2007(平成 19)年 4 月 21 日 岡山コンペ | ベンションセンター |
|-----------|--|------------|
| 教育講演 1 | 「アルツハイマー型認知症の治療の進歩」 香川大学医学部精神神経医学講座 教授 | 中村 祐 先生 |
| 教育講演 2 | 「PA と PSP の重要な鑑別点」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科神経病態内科学 | 倉田 智子 先生 |
| 教育講演 3 | 「認知障害とホモシステイン」 鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経内科部門 講 | 師 古和 久典 先生 |
| 教育講演 4 | 「中山町研究; MCI から認知症への移行について」 愛媛大学医学部附属病院精神科神経科 | 石川 智久 先生 |
| 特別講演 | 「特発性正常圧水頭症診療の現状と展望」 田附興風会医学研究所北野病院脳神経外科 部長 | 石川 正恒 先生 |
| 第 21 回中央 | 2007(平成 19)年 7 月 | 28 日 経団連会館 |
| 地区推薦講演 1 | 「アルツハイマー型認知症の治療の進歩」 香川大学医学部精神神経医学講座 教授 | 中村 祐 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「脳虚血耐性現象一臨床的意義一」 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学(脳卒中センター) 准教授 | 北川 一夫 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「久山町研究の痴呆 UPDATE」 九州大学大学院医学研究院環境医学分野 教授 | 清原 裕 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「生活習慣(食)と認知症ー緑茶の効用ー」 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 准教授 | 栗山 進一 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「高次脳機能の局在と臨床への応用」 北海道医療大学心理科学部 准教授 | 大槻 美佳 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「老年期痴呆の初期における神経心理学的障害について」 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 准教授 | 加藤 元一郎 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「変性性痴呆性疾患の脳機能画像の臨床応用」 日本医科大学内科神経・腎臓・膠原病・リウマチ内科部門 | 石渡 明子 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「PET によるアルツハイマー病の早期診断」 国立長寿医療センター長寿脳科学研究部 部長 | 伊藤 健吾 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病の免疫療法ー最近の話題ー」 国立長寿医療センター研究所 所長 | 田平 武 先生 |
| 第 17 回北海道 | 2007(平成 19)年 10 月 20 日 | KKR ホテル札幌 |
| 教育講演 1 | 「 言語機能からみた高次脳機能障害」 北海道医療大学心理科学部 准教授 | 大槻 美佳 先生 |
| 教育講演 2 | 「高磁場 MRI のコントラストとその臨床応用」 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター 准教授 | 松澤 等 先生 |
| 教育講演 3 | 「アルツハイマー病とニコチン性アセチルコリン受容体」 札幌医科大学医学部神経内科学 教授 | 下濱 俊 先生 |
| 特別講演 1 | 「認知症の行動・心理障害(BPSD)への対応: BPSD を治せてこそお医者さん!?」 筑波大学臨床医学系精神医学 教授 | 朝田 隆 先生 |
| 特別講演 2 | 「 老年期痴呆の原因と予防」 社会福祉法人浴風会浴風会病院 院長 | 大友 英一 先生 |

| 第 17 回東北 | 2007(平成 19)年 11 月 10 日 艮陵会館 |
|--------------|---|
| 教育講演 1 | 「TRP 受容体刺激及びアロマテラピーによる 高齢者摂食・嚥下障害治療戦略」 東北大学病院老年科 海老原 覚 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知リハビリテーションにおける評価と治療戦略 ーもの忘れ外来の経験からー」 埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション科 教授 前島 伸一郎 先生 |
| 教育講演 3 | 「日本のプリオン病の現状」 国立病院機構宮城病院神経内科 部長 志賀 裕正 先生 |
| 特別講演 1 | 「アルツハイマー病:治療における新たな展開」 弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座 教授 東海林 幹夫 先生 |
| 特別講演 2 | 「前頭葉機能の新しい評価法」 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 教授 鹿島 晴雄 先生 |
| 第 17 回九州 | 2008(平成 20)年 6 月 14 日 福岡県中小企業振興センター |
| 教育講演1 | 「アルツハイマー型認知症における前頭葉血流低下の臨床的意義」 大分大学医学部脳・神経機能統御講座(第3内科) 講師 木村 成志 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症と自動車運転」 高知大学医学部神経精神科学教室 講師 上村 直人 先生 |
| 教育講演 3 | 「アルツハイマー型認知症における VSRAD を用いた MRI 縦断的研究」 福岡大学医学部精神医学教室 講師 尾籠 晃司 先生 |
| 教育講演 4 | 「慢性脳虚血と認知症;慢性脳低灌流モデルを用いた解析」 三重大学大学院医学研究科神経病態内科学 教授 冨本 秀和 先生 |
| 特別講演 1 | 「認知症診断に必要な記憶障害の臨床」 熊本大学大学院医学薬学研究部 脳機能病態学分野(神経精神科) 教授 池田 学 先生 |
| 特別講演 2 | 「老化に伴う認知機能の動的神経病理(臨床・画像・病理連関)」 東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク 研究部長 村山 繁雄 先生 |
| 第 17 回近畿 | 2008 (平成 20) 年 7 月 5 日 リーガロイヤル NCB |
| 特別講演 1 | 「成体脳における神経細胞新生と気分障害 一動物の研究からわかることわからないこと」 自然科学研究機構生理学研究所分子神経生理部門 准教授 等 誠司 先生 |
| 特別講演 2 | 「脳梗塞の幹細胞治療」 国立循環器病センター研究所 循環動態機能部脳循環研究室 室長 田口 明彦 先生 |
| 特別講演 3 | 「特発性正常圧水頭症:新たな展開」 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野 教授 森 悦朗 先生 |
| 特別講演 4 | 「 認知症ケアネットワークにおけるもの忘れクリニックの役割」 医療法人藤本クリニック 理事長 藤本 直規 先生 |
| 特別講演 5 | 「認知症患者の運転:家族の介護負担と社会支援の観点から」 国立長寿医療センター長寿政策・在宅医療研究部 部長 荒井 由美子 先生 |

| 第 22 回中央 | 2008(平成 20)年 7 月 26 日 経団連会館 |
|----------|---|
| 地区推薦講演 1 | 「アルツハイマー病とニコチン性アセチルコリン受容体」 札幌医科大学医学部神経内科学講座 教授 下濱 俊 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「アルツハイマー病脳のアミロイド蓄積の生体画像化研究」 東北大学未来医工学治療開発センター前臨床応用部門 教授 工藤 幸司 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「認知障害とホモシスティン」 鳥取大学医学部附属脳幹性疾患研究施設脳神経内科部門 講師 古和 久典 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「うつ病から認知症への移行ならびにその介入に関する研究」 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院精神医学 准教授 馬場 元 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「 老年期の幻覚妄想と認知症」 名古屋大学大学院医学系研究科 発達・老年精神医学分野 准教授 入谷 修司 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「脳梗塞に対する幹細胞治療」 国立循環器病センター研究所 循環動態機能部脳循環研究室 室長 田口 明彦 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「脳画像によるアルツハイマー病の薬物療法の評価」 東京医科大学老年病科 准教授 羽生 春夫 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「前頭側頭型認知症の臨床症候学」 熊本大学大学院医学薬学研究部 脳機能病態学分野(神経精神科) 教授 池田 学 先生 |
| 特別講演 | 「わが国のプリオン病の現状と今後への展望」 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 脳神経病態学(神経内科学)分野 教授 水澤 英洋 先生 |
| 第 17 回中部 | 2008(平成 20)年 10 月 25 日 名古屋ルーセントタワー |
| 教育講演 1 | 「TDP-43 と FTLD/ALS」 東京都精神医学総合研究所 分子神経生物学研究チーム チームリーダー 長谷川 成人 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症における睡眠問題」 国立精神・神経センター精神保健研究所精神生理部 部長 三島 和夫 先生 |
| 特別講演 1 | 「パーキンソン病とレビー小体の病理」 弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座 教授 若林 孝一 先生 |
| 特別講演 2 | 「非アルツハイマー型変性認知症をめぐって」 横浜市立大学 名誉教授 横浜ほうゆう病院 病院長 小阪 憲司 先生 |

| 第 17 回中・四 | 国 | 2009(平成 21)年 4 月 18 日 | かがわ国際会議場 |
|-----------|--|---------------------------------------|------------|
| 教育講演 1 | 「アルツハイマー型認知症の新規バィ 精鎖修飾に着目して」 鳥取大学医学部保健学科生体制御 | イオマーカー ; | 谷口 美也子 先生 |
| 教育講演 2 | 「パーキンソン症候群の脳画像診断」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究 | | 武久 康 先生 |
| 教育講演 3 | 「 老年期における睡眠障害の病態に つ 香川大学医学部精神神経医学教室 | - | 新野 秀人 先生 |
| 教育講演 4 | 「BPSD の治療法の進歩と臨床応用」 島根大学医学部精神医学講座 教 | 授 | 堀口 淳 先生 |
| 特別講演 | 「プリオン病の最新情報」 東京医科歯科大学大学院医歯学総 脳神経病態学(神経内科学)分野 | | 水澤 英洋 先生 |
| 第 23 回中央 | | 2009(平成 21)年7月 25日 | 東京商工会議所 |
| 地区推薦講演 1 | 「 血管性認知障害の病態と臨床像」 秋田県立脳血管研究センター神経 | 内科学研究部 部長 | 長田 乾 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「筋萎縮性側索硬化症における高次腺 書字を中心として」 北海道大学大学院医学研究科神経 | | 秋本 幸子 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「神経疾患における社会的認知障害の 昭和大学医学部神経内科教授・附 | · · · · = | 河村 満 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「高齢者うつ病とアルツハイマー病に 国立長寿医療センター機能回復診 | | 長 服部 英幸 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「特発性正常圧水頭症:多施設共同の 洛和会音羽病院正常圧水頭症セン | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 石川 正恒 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「BPSD の治療法の進歩と臨床応用」 島根大学医学部精神医学講座 教 | 授 | 堀口 淳 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「アルツハイマー病と耐糖能異常:ク 九州大学大学院医学研究院神経病 | | 佐々木 健介 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「TDP-43 プロテイノパチー:分子病 慶應義塾大学医学部神経内科 専 | | 伊東 大介 先生 |
| 特別講演 | 「認知症の画像解析:新しい展開」 大阪大学大学院医学系研究科核医 | 学講座 教授 | 畑澤 順 先生 |

| 第 18 回北海道 | 2009(平成 21)年 10 月 17 日 | KKR ホテル札幌 |
|-----------|---|-----------|
| 教育講演 1 | 「筋萎縮性側索硬化症における高次脳機能の検討: 書字を中心として」 北海道大学大学院医学研究科神経内科学分野 助教 | 秋本 幸子 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症の薬物療法」 市立札幌病院静療院精神神経科 副医長 | 山本 晋 先生 |
| 特別講演1 | 「 老いと病の戦後史」 ノンフィクション作家 | 向井 承子 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病:治療における新たな展開」 弘前大学医学研究科脳神経内科学講座 教授 | 東海林 幹夫 先生 |
| 特別講演 3 | 「Alzheimer 病:何をすべきか?」 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター センター長・教授 | : 中田 力 先生 |
| 第 18 回東北 | 2009(平成 21)年 11 月 | 14日 艮陵会館 |
| 教育講演 1 | 「アミロイドイメージングの現状と展望」 東北大学大学院医学系研究科機能薬理学分野 准教授 | 岡村 信行 先生 |
| 教育講演 2 | 「要介護高齢者の栄養障害の問題」 名古屋大学大学院医学系研究科老年科学分野 准教授 | 葛谷 雅文 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病の分子メカニズムと治療戦略」 弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座 准教授 | 松原 悦朗 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症の診断における神経心理学的検査の意義」 山形大学大学院医学系研究科高次脳機能障害学 教授 | 鈴木 匡子 先生 |
| 特別講演3 | 「 慶應義塾大学神経内科における認知症診療と研究の現状」 慶應義塾大学医学部神経内科 教授 | 鈴木 則宏 先生 |
| 第 18 回九州 | 2010(平成 22)年 6 月 12 | 日 アクロス福岡 |
| 教育講演 1 | 「磁気刺激法を用いた認知症の診断と治療」 産業医科大学神経内科学講座 准教授 | 魚住 武則 先生 |
| 教育講演 2 | 「記憶と注意」 鹿児島大学医学部保健学科 教授 | 浜田 博文 先生 |
| 特別講演1 | 「前頭葉、基底核の高次脳機能」 北海道医療大学心理科学部言語聴覚療法学科 准教授 | 大槻 美佳 先生 |
| 特別講演 2 | 「BPSD の病態と治療」 日本社会事業大学大学院福祉マネジメント研究科 教授 | 今井 幸充 先生 |
| 特別講演 3 | 「脳血管性認知症は本当に存在するのか? 一脳血管障害を伴う認知症を再検討する」 社会医療法人財団新和会八千代病院神経内科 部長 | 川畑 信也 先生 |

| 第 18 回近畿 | 2010(平成 22)年 7 | 7月3日 リーガロイヤル NCB |
|----------|--|------------------------|
| 教育講演 1 | 「 認知症の介護」 京都大学大学院医学研究科内科学加齢医学講座 | 講師 武地 一 先生 |
| 教育講演 2 | 「BPSD の治療」 筑波大学臨床医学系精神医学 准教授 | 水上 勝義 先生 |
| 特別講演1 | 「病態理解と薬剤開発におけるアミロイド PET 検査の 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研 附属診療所 所長 | - |
| 特別講演 2 | 「認知症診療における最近の検査」 大阪市立大学大学院医学研究科老年内科学 教授 | 三木 隆己 先生 |
| 特別講演3 | 「認知症 - 超高齢社会の新しい糖尿病合併症」 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター | センター長 井藤 英喜 先生 |
| 第 24 回中央 | 2010(\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{ | 区成 22) 年 7 月 31 日 砂防会館 |
| 地区推薦講演 1 | 「若年性認知症の現状と課題:全国調査から」 筑波大学大学院人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻精神病態医学分野 | 池嶋 千秋 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「認知症高齢者の自動車運転」 筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学 | 専攻 教授 飯島 節 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「認知症診療のための教育プログラム作成と実践」 鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座環境保健 | 学分野 教授 浦上 克哉 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「記憶障害を主訴に物忘れ外来を受診した高齢発症で 天使病院精神科・神経科 科長 | てんかん」 伊藤 ますみ 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「ユビキチン陽性封入体を伴う前頭側頭葉変性症と 筋萎縮性側索硬化症の病理 ーTDP-43 proteinopathy の視点から」 愛知医科大学加齢医科学研究所 教授 | 吉田 眞理 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「髄液中の糖鎖バイオマーカーによる認知症の鑑別」 福島県立医科大学生化学講座 教授 | 橋本 康弘 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「アルツハイマー型認知症における前頭葉血流低下の 大分大学医学部総合内科学第三講座 講師 |)臨床的意義」 木村 成志 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「認知症の画像診断ーMRIを中心にして」 京都大学大学院医学研究科附属 高次脳機能総合研究センター 教授 | 福山 秀直 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病の根本治療をめざして: J - ADN 東京大学大学院医学系研究科神経病理学分野 教 | |

| 第 18 回中部 | 2010(平成 22)年 10 月 30 日 名古屋 | ルーセ | ントタ | ワー |
|---------------------|---|---------|-----|------------------|
| 教育講演1 | 「精神鑑定からみた認知症」 岐阜県立多治見病院精神科 部長 | 髙田 | 知二 | 先生 |
| 教育講演 2 | 「糖尿病と認知症」 名古屋大学医学部附属病院老年内科 助教 | 梅垣 | 宏行 | 先生 |
| 教育講演 3 | 「アルツハイマー病とアポリポ蛋白 E」 独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所 アルツハイマー病研究部 部長 | 道川 | 誠 | 先生 |
| ご案内 | 「第 29 回日本認知症学会について」 独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所 副所長 | 柳澤 | 勝彦 | 先生 |
| 特別講演 1 | 「認知症の PET イメージングと J-ADNI」 独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所 認知症先進医療開発センター脳機能画像診断開発部 部長 | 伊藤 | 健吾 | 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症の脳活性化リハビリテーション」 群馬大学医学部保健学科基礎理学療法学 教授 | 山口 | 晴保 | 先生 |
| | | | | |
| 第 18 回中・四 | 2011(平成 23)年 4 月 23 日 岡山 | 国際交流 | 流セン | /ター |
| 第 18 回中·四 教育講演 1 | 2011(平成 23)年4月23日 岡山 「前頭側頭葉変性症(FTLD)の症候と治療」 愛媛大学大学院医学系研究科脳・神経病態制御医学 脳とこころの医学分野 准教授 | 国際交流 谷向 | | ´ター 先生 |
| | 「前頭側頭葉変性症 (FTLD) の症候と治療」 愛媛大学大学院医学系研究科脳・神経病態制御医学 | 谷向 | 知 | |
| 教育講演 1 | 「前頭側頭葉変性症 (FTLD) の症候と治療」 愛媛大学大学院医学系研究科脳・神経病態制御医学 脳とこころの医学分野 准教授 「尾道市医師会方式 DBC (Dementia Balance Check) Sheet の 多角的活用による認知症治療の適正化」 | 谷向片山 | 知 | 先生 |
| 教育講演 1 教育講演 2 | 「前頭側頭葉変性症 (FTLD) の症候と治療」 愛媛大学大学院医学系研究科脳・神経病態制御医学 脳とこころの医学分野 准教授 「尾道市医師会方式 DBC (Dementia Balance Check) Sheet の 多角的活用による認知症治療の適正化」 尾道市医師会 会長/岡山大学医学部 臨床教授/片山医院 院長 「認知症疾患治療ガイドライン 2010」 鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座 | 谷向片山 | 知壽 | 先生 |

| 第 25 回中央 | 2011(平成 23)年 7. | 月 30 日 | 砂防 | 会館 |
|-----------|--|--------|------|----|
| 地区推薦講演 1 | 「認知症の妄想」 熊本大学医学部附属病院神経精神科 講師 | 橋本 | 衛: | 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「血管性認知症;Revisited」 三重大学大学院医学研究科神経病態内科学 教授 | 冨本 | 秀和: | 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「特発性正常圧水頭症(iNPH) - その診断と治療の最前線-」 医療法人北晨会恵み野病院 院長 | 貝嶋 | 光信: | 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「アミロイドペットの臨床的有用性」 大阪市立大学大学院医学研究科老年内科学 教授 | 三木 | 隆己: | 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「尾道市医師会方式 DBC (Dementia Balance Check) Sheet の 多角的活用による認知症治療の適正化」 尾道市医師会 会長/岡山大学医学部 臨床教授/片山医院 院長 | 長 片山 | 壽; | 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「川崎市における認知症ネットワーク」 日本医科大学武蔵小杉病院内科 病院教授 | 北村 | 伸: | 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「認知症ネットワークと早期予防介入の重要性」 植松神経内科クリニック 院長 慶應義塾大学医学部神経内科 非常勤講師 | 植松 | 大輔 : | 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「記憶の神経機構と認知症」 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野 教授 | 森 | 悦朗 : | 先生 |
| 特別講演 | 「認知症疾患治療ガイドライン 2010」 鳥取大学医学部医学科脳神経医科学講座 脳神経内科学分野 教授 | 中島 | 健二: | 先生 |
| 第 19 回北海道 | 2011(平成 23)年 10月 22日 | KKR | ホテル | 札幌 |
| 教育講演1 | 「 認知症を支える地域連携の取り組み」 砂川市立病院精神科 部長 | 内海 久 | (美子: | 先生 |
| 教育講演 2 | 「プリオン病:北海道における発症の状況について」 北祐会神経内科病院 院長 | 森若 | 文雄: | 先生 |
| 特別講演1 | 「特発性正常圧水頭症診療の現場より」 恵み野病院 院長 | 貝嶋 | 光信: | 先生 |
| 特別講演 2 | 「前頭側頭葉変性症」 熊本大学大学院生命科学研究部 脳機能病態学分野(神経精神科) 教授 | 池田 | 学: | 先生 |
| 特別講演3 | 「認知症を伴う運動ニューロン疾患」 群馬大学大学院医学系研究科脳神経内科学 教授 | 岡本 | 幸市: | 先生 |

| 第 19 回東北 | 2011 (平成 23)年 11 月 26 日 TKP 仙台カン | ノファレンスセンター |
|----------|--|-------------|
| 教育講演 1 | 「Frontotemporal lobar degeneration 一変遷する病理学的概念と定型的臨床徴候一」 昭和大学横浜市北部病院内科 准教授 | 福井 俊哉 先生 |
| 教育講演 2 | 「CARASIL からの血管性認知症へのアプローチ」 新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター 分子神経疾患資源解析学 教授 | 小野寺 理 先生 |
| 教育講演3 | 「レビー小体型認知症・BPSD のメカニズム」 滋賀県立成人病センター老年内科 副部長 | 長濱 康弘 先生 |
| 特別講演1 | 「高齢者の口腔内環境と全身疾患」 東北大学大学院歯学研究科予防歯科学 教授 | 小関 健由 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病研究の進歩ー特に脂質代謝と関連してー」 独立行政法人国立長寿医療研究センター研究所 アルツハイマー病研究部 部長 | 道川 誠 先生 |
| 特別講演 3 | 「前頭前野機能と認知症」 学校法人東洋学園 国際医学技術専門学校 副校長 京都大学 名誉教授 | 久保田 競 先生 |
| 第 19 回九州 | 2012 (平成 24) 年 6 月 9 日 福岡県中 | 中小企業振興センター |
| 教育講演 1 | 「生活習慣病と認知症」 九州大学大学院医学研究院精神病態医学 助教 | 小原 知之 先生 |
| 教育講演 2 | 「 老年期認知症と漢方治療」 飯塚病院東洋医学センター漢方診療科 部長 | 田原 英一 先生 |
| 教育講演 3 | 「前頭側頭葉変性症の分子病理」 筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学 准教授 | 新井 哲明 先生 |
| 特別講演1 | 「タウオパチーからみたアルツハイマー病」 独立行政法人国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター分子基盤研究部 部長 | 高島 明彦 先生 |
| 特別講演2 | 「特発性正常圧水頭症の臨床」 東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学分野 教授 | 森 悦朗 先生 |
| 特別講演3 | 「 認知症の認知機能の特徴」 久留米大学高次脳疾患研究所 教授 | 森田 喜一郎 先生 |
| 第 19 回近畿 | 2012(平成 24)年 6月 30 日 | リーガロイヤル NCB |
| 教育講演 1 | 「アルツハイマー病のバイオマーカーと新しい診断基準」 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 講師 | 大河内 正康 先生 |
| 教育講演 2 | 「レビー小体型認知症・BPSD のメカニズム」 滋賀県立成人病センター老年内科 副部長 | 長濱 康弘 先生 |
| 教育講演3 | 「認知症の疫学研究ー被爆者の追跡調査においてー」 公益財団法人放射線影響研究所臨床研究部 主任研究員 | 山田 美智子 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病治療の現況と将来の展望について」 東京大学大学院医学研究科 分子脳病態科学講座 特任准教授 | 岩田 淳 先生 |
| 特別講演 2 | 「パーキンソン病とレビー小体型認知症の基礎と臨床」 大阪大学大学院医学系研究科神経内科学 教授 | 望月 秀樹 先生 |

| 第 26 回中央 | 2012(平成 24)年 7月 28日 | コクヨショールーム |
|-----------|--|--------------|
| 地区推薦講演 1 | 「 認知症への包括的アプローチ」 国立長寿医療研究センター 病院長 | 鳥羽 研二 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「 認知症の認知機能の特徴」 久留米大学高次脳疾患研究所 教授 | 森田 喜一郎 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「アルツハイマー病のバイオマーカーと新しい診断基準」 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 講師 | 大河内 正康 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「アルツハイマー病におけるタウ蛋白画像化の試み」 東北大学大学院医学系研究科機能薬理学分野 准教授 | 岡村 信行 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「前頭側頭葉変性症 (FTLD) の症候と治療」 愛媛大学大学院医学系研究科脳・神経病態制御医学 脳とこころの医学分野 准教授 | 谷向 知 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「プリオン病:北海道における発症の状況について」 北祐会神経内科病院 院長 | 森若 文雄 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「高齢者にみられる特有の症状「幻の同居人」について」 埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック 教授 | 深津 亮 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「 <mark>認知症と高次脳機能障害における運転能力」</mark> 慶應義塾大学医学部精神神経科 教授 | 三村 將 先生 |
| 特別講演 | 「アルツハイマー病の薬物治療〜現状と今後の展望〜」 札幌医科大学医学部神経内科学講座 教授 | 下濱 俊 先生 |
| 第 19 回中部 | 2012(平成 24)年 11 月 10 日 愛 | :知芸術文化センター |
| 教育講演 1 | 「地域における軽度認知障害及び認知症の 早期発見・予防プロジェクト(なかじまプロジェクト)」 金沢大学大学院医学系研究科 脳老化・神経病態学(神経内科) 助教 | 篠原 もえ子 先生 |
| 教育講演 2 | 「タウオパチーと精神症状~DNTCの臨床病態を中心に~」 愛知県立城山病院精神科 医長 | 羽渕 知可子 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー型認知症治療薬について」 香川大学医学部精神神経医学講座 教授 | 中村 祐 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症への包括的アプローチ」 独立行政法人国立長寿医療研究センター 病院長 | 鳥羽 研二 先生 |
| 第 19 回中・匹 | 国国 2013 (平成 25) 年 4 月 20 日 | かがわ国際会議場 |
| 教育講演 1 | 「安静時 fMRI の臨床応用:機能的結合と認知機能の関連」 島根大学医学部内科学講座内科学第三 学内講師 | 小野田 慶一 先生 |
| 教育講演 2 | 「新規抗認知症薬の臨床効果」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学 助教 | 倉田 智子 先生 |
| 教育講演3 | 「多発性硬化症と認知症」 愛媛大学大学院医学系研究科加齢制御内科学講座 講師 | 越智 博文 先生 |
| 教育講演 4 | 「東北における認知症研究と診療 分子イメージングから震災復興まで」 東北大学加齢医学研究所脳研究部門老年医学分野 准教授 | 古川 勝敏 先生 |
| 特別講演 | 「認知症の新しい BPSD スコア」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学 教授 | 阿部 康二 先生 |

| 第 27 回中央 | 2013(平成 25)年7月27日 : | コクヨショールーム |
|-----------|--|-------------|
| 地区推薦講演 1 | 「生活習慣病と認知症:久山町研究」 九州大学大学院医学研究院精神病態医学 助教 | 小原 知之 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「地域における軽度認知障害及び認知症の 早期発見・予防プロジェクト(なかじまプロジェクト)」 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学(神経内科) 助教 | 篠原 もえ子 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「アルツハイマー病治療の現況と将来の展望について」 東京大学大学院医学研究科分子脳病態科学講座 特任准教授 | 岩田 淳 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「骨髄幹細胞移植による認知機能改善の可能性」 札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所 神経再生医療学部門 教授 | 本望 修 先生 |
| 地区推薦講演5 | 「Parkinson病の認知機能障害をMMSEとMoCAにより評価した 多施設共同研究・慶應PDデータベース」 国家公務員共済組合連合会 立川病院神経内科 部長 | 太田 晃一 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「安静時自発脳活動複雑ネットワーク解析と認知症」 島根大学医学部内科学講座内科学第三 教授 | 山口 修平 先生 |
| 地区推薦講演7 | 「特発性正常圧水頭症 (iNPH) の神経病理」 秋田県立脳血管研究センター脳神経病理学研究部 部長 | 宮田 元 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「レビー小体型認知症・BPSD のメカニズム」 滋賀県立成人病センター老年内科・神経内科 部長 | 長濱 康弘 先生 |
| 特別講演 | 「認知症における画像診断の進歩」 独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター センター長 | 松田 博史 先生 |
| 第 20 回北海道 | 2013(平成 25)年 10月 19日 | I KKR ホテル札幌 |
| 教育講演1 | 「骨髄幹細胞移植による認知機能改善の可能性」 札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所 神経再生医療学部門 教授 | 本望 修 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症治療薬のエビデンスとエキスペリエンス」 神戸大学大学院医学研究科神経内科学分野 准教授 | 古和 久朋 先生 |
| 特別講演1 | 「認知症の早期発見と早期ケア」 鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座環境保健学分野 教授 | 浦上 克哉 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー型認知症 - この 10 年とこれから」 東京都健康長寿医療センター 神経内科・バイオリソースセンター(高齢者ブレインバンク) 部長 | 村山 繁雄 先生 |
| 特別講演3 | 「中核症状と BPSD 治療の実践的課題 ーオレンジプランを視野に入れて一」 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学 教授 | 新井 平伊 先生 |

| 第 20 回東北 | 2013 (平成 25)年 11 月 | 30 日 | 艮陵会 | 館 |
|----------|--|------|------|-----|
| 教育講演 1 | 「認知症と生活習慣病」 秋田県立脳血管研究センター神経内科 | 山﨑 | 貴史 先 | 生 |
| 教育講演 2 | 「認知症とリハビリテーション」 東北大学大学院医学系研究科肢体不自由学分野 准教授 | 田中 | 尚文 先 | 生 |
| 教育講演 3 | 「アミロイド PET と preclinical AD」 大阪市立大学大学院医学系研究科老年内科・神経内科 准教授 | 嶋田 | 裕之 先 | 生 |
| 教育講演 4 | 「震災による認知症医療への影響」 公益財団法人磐城済世会 舞子浜病院 名誉院長 | 田子 | 久夫 先 | 生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病治療薬の現状と今後の展望」 同志社大学脳科学研究科神経疾患研究センター 教授 | 杉本 | 八郎 先 | 生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病関連遺伝子の解析」 新潟大学脳研究所・フェロー | 桑野 | 良三 先 | 生 |
| 第 20 回九州 | 2014(平成 26)年 6 月 7 日 福岡県中小金 | | 興センタ | 7 — |
| 教育講演1 | 「認知症患者における脳梗塞発症前の抗認知症薬内服と 入院時神経学的重症度に関する検討: Fukuoka Stroke Registry」 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 助教 | 脇坂 | 義信 先 | :生 |
| 教育講演 2 | 「認知症の地域連携について~北筑後地域における取り組み」 久留米大学医学部神経精神医学講座 講師 | 小路 | 純央 先 | 生 |
| 特別講演 1 | 「レビー小体型認知症の妄想」 熊本大学医学部附属病院神経精神科 講師 | 橋本 | 衛 先 | 生 |
| 特別講演 2 | 「プリオン病の治療戦略」 福岡大学医学部神経内科学 教授 | 坪井 | 義夫 先 | 生 |
| 特別講演3 | 「もの忘れ外来からみた老年期認知症の変遷」 秋田県立脳血管研究センター神経内科学研究部 部長 | 長田 | 乾失 | 生 |
| 第 20 回近畿 | 2014(平成 26)年7月5日 リー | ガロイ | ヤル N | СВ |
| 講演 1 | 「認知症の時代的変化とその要因:久山町研究」 九州大学大学院医学研究院精神病態医学 助教 | 小原 | 知之 先 | 生 |
| 講演 2 | 「遺伝性脳小血管病からみた血管性認知症」 京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学 教授 | 水野 | 敏樹 先 | 生 |
| 講演 3 | 「神経病理の分子イメージングの診療における展望」 放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 脳分子動態チーム チームリーダー | 樋口 | 真人 先 | 生 |
| 講演 4 | 「 認知症におけるタウの分子病理」 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室 准教授 | 田中 | 稔久 先 | 生 |
| 講演 5 | 「オートファジーと神経疾患」 順天堂大学大学院医学研究科神経疾患病態構造学 特任教授 | 内山 | 安男 先 | 生 |

| 第 28 回中央 | 2014(平成 26)年7月26日 = | 1クヨショールーム |
|----------|--|------------|
| 地区推薦講演 1 | 「もの忘れを主訴にメモリークリニックを受診した てんかん性記憶障害」 済生会横浜市東部病院脳血管・神経内科 部長 | 村松 和浩 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「遺伝性脳小血管病からみた血管性認知症」 京都府立医科大学大学院医学研究科神経内科学 教授 | 水野 敏樹 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「認知症患者における脳梗塞発症前の抗認知症薬内服と 入院時神経学的重症度に関する検討: Fukuoka Stroke Registry」 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 助教 | 脇坂 義信 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「PET によるタウ病理像の生体画像化」 東北大学加齢医学研究所 教授 | 工藤 幸司 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「進行性非流暢性失語 (PNFA) の症候」 北海道大学大学院保健科学研究院 准教授 | 大槻 美佳 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「脳内石灰化と認知症」 岐阜薬科大学大学院薬物治療学 教授 | 保住 功 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「多発性硬化症と認知症」 愛媛大学大学院医学系研究科老年・神経・総合診療内科学 講師 | 市 越智 博文 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「認知症疾患医療センター5年間の取り組み」 埼玉精神神経センター さいたま市認知症疾患医療センター センター長 | 丸木 雄一 先生 |
| 特別講演 | 「神経病理の分子イメージングの診療における展望」 放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター 脳分子動態チーム チームリーダー | 樋口 真人 先生 |
| 第 20 回中部 | 2014(平成 26)年 11 月 8 日 愛知 | 中芸術文化センター |
| 教育講演 1 | 「認知症のタウイメージング研究」 放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター 分子神経イメージング研究プログラム脳病態チーム 主任研究員 | 島田 斉 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症診療における地域連携」 名古屋大学大学院医学系研究科 地域包括ケアシステム学寄附講座 准教授 | 鈴木 裕介 先生 |
| 特別講演 1 | 「 血管性認知症について」 三重大学大学院医学研究科神経病態内科学 教授 | 富本 秀和 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症予防に向けて」 国立長寿医療研究センター 研究所長 | 鈴木 隆雄 先生 |

| 第 20 回中・匹 | 国国 2015(平成 27)年 4 月 25 日 岡山區 | 国際交流 | 流セン | ター |
|-----------|---|------|-----|----|
| 教育講演 1 | 「光トポグラフィーを用いた抗認知症薬の作用と効果発現の検討」 島根大学医学部精神医学講座 講師 | 和氣 | 玲 | 先生 |
| 教育講演 2 | 「糖尿病と認知症」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学 病院講師 | 菱川 | 望 | 先生 |
| 教育講演 3 | 「パーキンソン病における認知機能障害」 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院神経内科 准教授 | 頼高 | 朝子 | 先生 |
| 教育講演 4 | 「栄養・運動と認知症予防」 島根大学医学部生理学講座(環境生理学) 准教授 | 橋本 | 道男 | 先生 |
| 特別講演 | 「認知症克服のシナリオを考える」 東北大学加齢医学研究所老年医学分野 教授 | 荒井 | 啓行 | 先生 |
| 第 29 回中央 | 2015(平成 27)年 7 月 | 25 日 | 砂防 | 会館 |
| 地区推薦講演 1 | 「認知症の早期発見と予防」 鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座環境保健学分野 教授 | 浦上 | 克哉 | 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「認知症と生活習慣病」 秋田県立脳血管研究センター 神経内科 | 山﨑 | 貴史 | 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「久山町研究からみた認知症の予防」 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学 講師 | 小原 | 知之 | 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「iPS 細胞を用いた認知症の発症機構の解明ならびに治療薬開発」 京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門 幹細胞医学分野 教授 | 井上 | 治久 | 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「認知症予防に向けて ーMCI を対象とした認知機能低下予防の RCTー」 国立長寿医療研究センター 総長特任補佐/ | | | |
| | 桜美林大学 加齢・発達研究所 所長 | 鈴木 | 隆雄 | 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「認知症における道具的活動と失行について」 札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授 | 石合 | 純夫 | 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「Prodromal DLB と Prodromal PD」 東海大学医学部付属八王子病院 神経内科 教授 | 野川 | 茂 | 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「認知症研究の今後の課題」 日本認知症学会 理事長/ 東京都医学総合研究所 認知症プロジェクト 参事研究員 | 秋山 | 治彦 | 先生 |
| 特別講演 | 「前頭側頭型認知症 (FTD) の症候学」 熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野 教授 | 池田 | 学 | 先生 |

| 第 21 回北海道 | 2015(平成 27)年 10月 24日 | KKR ホテル札幌 |
|---------------|--|-------------------|
| 教育講演1 | 「うつ病から認知症への移行」 順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学 准教授 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 副診療部長 | 馬場 元 先生 |
| 教育講演 2 | 「前頭側頭葉変性症~Corticobasal syndrome (CBS)を中心に~」 北海道大学大学院医学研究科 神経病態学講座神経内科学分野 准教授 北海道大学病院 神経内科 診療教授 | 矢部 一郎 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー型認知症のバイオマーカーの現状と課題」 京都府立医科大学大学院医学研究科 分子脳病態解析学 教授(神経内科学 併任准教授) | 徳田 隆彦 先生 |
| 特別講演 2 | 「血管性認知症の画像診断;Update」 三重大学大学院医学研究科 神経病態内科学 教授 | 富本 秀和 先生 |
| 特別講演3 | 「認知症の神経心理学」 札幌医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授 | 石合 純夫 先生 |
| 第 21 回東北 | 2015(平成 27)年 11 月 21 日 TKP ガーデン | シティ仙台勾当台 |
| | 2013 (///2 27/ 11/), 21 1141 // / / (| |
| 教育講演1 | 「レビー小体病の症候と病態」 東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学 講師 | 西尾 慶之 先生 |
| 教育講演 1 教育講演 2 | 「レビー小体病の症候と病態」 | |
| | 「レビー小体病の症候と病態」 東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学 講師 「タウからの創薬を考える」 同志社大学生命医科学部 医生命システム学科 神経病理学研究室 准教授 「αシヌクレインの細胞間伝播の分子メカニズム」 東北大学大学院医学系研究科 | 西尾 慶之 先生 |
| 教育講演 2 | 「レビー小体病の症候と病態」 東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学 講師 「タウからの創薬を考える」 同志社大学生命医科学部 医生命システム学科 神経病理学研究室 准教授 「αシヌクレインの細胞間伝播の分子メカニズム」 東北大学大学院医学系研究科 | 西尾 慶之 先生 |
| 教育講演 2 教育講演 3 | 「レビー小体病の症候と病態」 東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学 講師 「タウからの創薬を考える」 同志社大学生命医科学部 医生命システム学科 神経病理学研究室 准教授 「αシヌクレインの細胞間伝播の分子メカニズム」 東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座 神経内科学分野 講師 「意味性認知症とその関連疾患の臨床・画像・病理」 | 西尾 慶之 先生 宮坂 知宏 先生 |

| 第 21 回九州 | 2016(平成 28)年 6月 25日 福岡県中小 | 企業振興センター |
|----------|--|-----------------|
| 教育講演1 | 「認知症スクリーニング検査と画像解析所見が乖離した群の検診 久留米大学医学部 神経精神医学講座 助教 | 村」 山下 裕之 先生 |
| 教育講演 2 | 「 認知症初期集中支援チームの実践と課題」 熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野 助教 | 石川 智久 先生 |
| 教育講演3 | 「Vascular Cognitive Impairment」 国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 | 猪原 匡史 先生 |
| 特別講演 1 | 「無理をしない認知症との付き合い方」 横浜市立大学附属市民総合医療センター 一般内科教授・部長 | 鈴木 ゆめ 先生 |
| 特別講演 2 | 「糖尿病性認知症」 東京医科大学 高齢総合医学分野(高齢診療科) 主任教授 | 羽生 春夫 先生 |
| 第 21 回近畿 | 2016(平成 28)年7月16日 大阪国際会議場(グ | ランキューブ大阪) |
| 講演 1 | 「Vascular Cognitive Impairment」 国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 | 猪原 匡史 先生 |
| 講演 2 | 「 認知症診療における連携と協同」 大阪大学大学院医学研究科 精神医学教室 講師 | 數井 裕光 先生 |
| 講演 3 | 「アルコールと認知症のさまざまな関係」 国立病院機構久里浜医療センター 副院長 | 松下 幸生 先生 |
| 特別講演 | 「認知症診療の実際 〜紙とペンと賞賛で笑顔の生活をささえる 群馬大学大学院保健学研究科 リハビリテーション学 教授 | 」 山口 晴保 先生 |
| 第 30 回中央 | 2016(平成 28)年7月30日 = | 1クヨショールーム |
| 地区推薦講演 1 | 「大規模脳画像データベースから見る脳加齢と認知症」 東北大学加齢医学研究所 機能画像医学研究分野 教授 | 瀧 靖之 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「メモリークリニックにおける認知症の早期発見」 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 講師 | 田渕 肇 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「DNAJB6 変異に伴う前頭側頭型認知症 〜新規 multisystem proteinopathy の可能性〜」 北海道大学大学院医学研究科 神経病態学講座神経内科学分野 准教授 | 矢部 一郎 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「前頭側頭型認知症の病態診断」 名古屋大学 脳とこころの研究センター 特任教授 | 渡辺 宏久 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「Aβ 凝集に焦点をあてた アルツハイマー病の予防・治療薬の開発」 昭和大学医学部内科学講座 神経内科学部門 教授 | 小野 賢二郎 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「アルツハイマー病:脳の糖尿病の治療薬開発」 愛媛大学大学院医学系研究科 老年・神経・総合診療内科学(神経内科) 教授 | 大八木 保政 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「Small vessel disease と <mark>認知機能障害」</mark> 佐賀大学医学部 神経内科 講師 | 藥師寺 祐介 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「Vascular Cognitive Impairment」 国立循環器研究センター 脳神経内科 医長 | 猪原 匡史 先生 |
| 特別講演 | 「糖尿病性認知症」 東京医科大学 高齢総合医学分野(高齢診療科) 主任教授 | 羽生 春夫 先生 |

| 第 21 回中部 | 2016(平成 28)年 11 月 26 日 愛知 | 田芸術文化センター |
|----------|--|------------|
| 教育講演 1 | 「中高年者の知能の加齢変化」 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター NILS-LSA 活用研究室 研究員 | 西田 裕紀子 先生 |
| 教育講演 2 | 「前頭側頭型認知症の臨床病理」 筑波大学医学医療系臨床医学域 精神医学 教授 | 新井 哲明 先生 |
| 特別講演 1 | 「ワーキングメモリとその脳内機構」 大阪大学脳情報通信融合研究センター 主任研究員 大阪大学未来戦略機構 招聘教授 大阪大学 名誉教授 | 苧阪 満里子 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病 Update: 非アルツハイマー型認知症との鑑別と治療・予防法の開発」 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学(神経内科学) 教授 | 」 山田 正仁 先生 |

| 第 21 回中・四 | 国 2017(平成 29)年 4 月 15 | 日 高松商工会議所 |
|-----------|--|-----------|
| 教育講演 1 | 「デフォルトモードネットワークによる アルツハイマー病と軽度認知障害の識別は可能か?」 島根大学医学部 内科学講座 内科学第三 講師 | 小野田 慶一 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症治療薬の切換え療法の臨床効果」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経内科学 講師 | 太田 康之 先生 |
| 教育講演 3 | 「レビー小体型認知症とうつ病・妄想性障害の境界」 医療法人 鳴子会 菜の花診療所 理事長 | 北村 ゆり 先生 |
| 特別講演 | 「診療所型認知症疾患医療センターが行う多職種地域連携 ~連携から人材育成へ~」 医療法人藤本クリニック 理事長 | 藤本 直規 先生 |

| 第 31 回中央 | 2017(平成 29)年7月29日 | コクヨショールーム |
|----------|--|-----------------|
| 地区推薦講演 1 | 「認知症における視・空間認知障害」 山形大学大学院医学系研究科 内科学第三講座 神経学分野 教授 | 鈴木 匡子 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「 遠隔記憶の神経心理学的評価」 埼玉医科大学総合医療センター メンタルクリニック 教授 | 吉益 晴夫 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「 気分障害と認知症」 佐賀大学医学部 精神医学講座 教授 | 門司 晃 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「レビー小体型認知症の初発症状と RI 検査の有用性」 砂川市立病院 認知症疾患医療センター センター長 | 内海 久美子 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「MMSE を用いたアルツハイマー型認知症治療薬使い分けの記 慶應義塾大学医学部 神経内科 専任講師 | 试み」 吉崎 崇仁 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「 <mark>認知症診療・ケアにおける認知症カフェの役割」</mark> 藤田保健衛生大学医学部 認知症・高齢診療科 教授 | 武地 一 先生 |
| 地区推薦講演7 | 「 認知症診療における連携と協同」 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 講師 | 數井 裕光 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「多職種協働による認知症患者の治療と DBC シートの有用性 片山医院 院長/尾道市医師会 元会長 東京医科大学医学総合研究所 客員教授 尾道市医師会地域医療システム研究所 所長 | 片山 壽 先生 |
| 特別講演 | 「エビデンスでみる認知症の予防・治療法としての 認知トレーニング」 東京医科歯科大学 特任教授 | 朝田 隆 先生 |

| 第 22 回北海道 | 2017(平成 29)年 10 | 月 21 日 ACU-A |
|-----------|--|---------------|
| 教育講演 1 | 「レビー小体型認知症の臨床と画像診断」 医療法人社団 心優会 中江病院 院長 札幌医科大学 神経精神医学講座 非常勤講師 | 小林 清樹 先生 |
| 教育講演 2 | 「アルツハイマー型認知症の周辺症状の病態解明」 順天堂大学大学院 スポーツ健康科学研究科 教授 | 柴田 展人 先生 |
| 教育講演 3 | 「認知症と自動車運転 一新たな改正道交法開始後の現状と課題ー 高知大学医学部神経精神科学教室 講師 | 」 上村 直人 先生 |
| 特別講演1 | 「Neuronal intranuclear inclusion disease の臨床病理」 愛知医科大学加齢医科学研究所 教授 | 吉田 眞理 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病:分子病態と治療戦略」 筑波大学大学院人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻 神経内科学分野 教授 | 玉岡 晃 先生 |

| 第 22 回東北 | 2018(平成 30)年 1 月 20 日 TKP | ガーデンシティ仙台 |
|----------------|--|--------------------|
| 教育講演1 | 「連携型認知症疾患医療センターの役割と課題」 医療法人 湖山荘 あずま通りクリニック 院長 | 小林 直人 先生 |
| 教育講演 2 | 「これからの認知症医療の展望」 東北医科薬科大学医学部 地域医療学 総合診療科 教授 | 古川 勝敏 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病の治療と予防戦略」 理化学研究所 脳科学総合研究センター 神経蛋白制御研究チーム シニアチームリーダー | 西道 隆臣 先生 |
| 特別講演 2 | 「我が国の認知症施策の課題と展望」 東京都健康長寿医療センター 自立促進と介護予防研究チーム 部長 | 粟田 主一 先生 |
| 特別講演3 | 「認知症高齢者の自動車運転」 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 教授 | 三村 將 先生 |
| | | |
| 第 22 回九州 | 2018(平成 30)年 6 月 9 日 福岡県中 | 小企業振興センター |
| 第 22 回九州教育講演 1 | 2018 (平成 30) 年 6 月 9 日 福岡県中 「老年期者の視覚誘発事象関連電位の特徴 - 頭部 MRI の VbSEE 解析との比較検討-」 医療法人社団祥和会 大川病院 院長 久留米大学医学部 神経精神医学講座 助教 | 小企業振興センター 大川 順司 先生 |
| | 「老年期者の視覚誘発事象関連電位の特徴 -頭部 MRI の VbSEE 解析との比較検討-」 医療法人社団祥和会 大川病院 院長 | |
| 教育講演 1 | 「老年期者の視覚誘発事象関連電位の特徴 -頭部 MRI の VbSEE 解析との比較検討-」 医療法人社団祥和会 大川病院 院長 久留米大学医学部 神経精神医学講座 助教 「地域高齢住民における認知症の有病率・ 発症率・予後の時代的変化:久山町研究」 | 大川 順司 先生 |
| 教育講演 1 教育講演 2 | 「老年期者の視覚誘発事象関連電位の特徴 -頭部 MRI の VbSEE 解析との比較検討-」 医療法人社団祥和会 大川病院 院長 久留米大学医学部 神経精神医学講座 助教 「地域高齢住民における認知症の有病率・ 発症率・予後の時代的変化:久山町研究」 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学 講師 「病院は認知症患者の終のすみかか?」 | 大川 順司 先生 |

| 第 22 回近畿 | 2018(平成 30)年 7 月 14 日 | 新梅田研修センター |
|--------------------------------|---|-----------|
| 講演 1 | 「アルツハイマー病の iPS 細胞研究」 京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門 教授/理化学研究所 | 井上 治久 先生 |
| 講演 2 | 「認知症とともに暮らせる社会に向けて 一認知症初期集中支援チームの役割」 東京都健康長寿医療センター 自立促進と介護予防研究チーム 部長 | 粟田 主一 先生 |
| 講演 3 | 「iNPH と DLB の早期診断と治療」 大阪大学大学院連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座 教授 公益財団法人日本生命済生会 日生病院 特任顧問 東北大学 名誉教授 | 森 悦朗 先生 |
| 講演 4 | 「アルツハイマー病の人との治療的対話(精神療法)」 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 教授 | 繁田 雅弘 先生 |
| 講演 5 | 「認知症の症候学」 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 | 池田 学 先生 |
| 第 32 回中央 | 2018(平成 30)年7月28日 | 都市センターホテル |
| 地区推薦講演 1 | 「前頭側頭型認知症の診断を巡る諸問題」 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 講師 | 品川 俊一郎 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「非定型アルツハイマー病の臨床・画像・病理」 福島県立医科大学会津医療センター 精神医学講座 教授 | 川勝 忍 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「認知症の診療と研究における PET 検査」 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 治験・臨床研究推進センター長 | 伊藤 健吾 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「レビー小体型認知症の病態と診療」 東京医科大学 高齢総合医学分野(高齢診療科) 准教授 | 馬原 孝彦 先生 |
| 地区推薦講演 5 <台風の影響の ため講演中止> | 「脳梗塞に対する骨髄間葉系幹細胞治療 -認知機能の改善について-」 札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所 神経再生医療学部門 教授 | 本望 修 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「アルツハイマー病発症リスクの分子診断と 予防的個別化介入に向けて」 滋賀医科大学神経難病研究推進機構 神経難病研究センター 分子神経病理学部門 教授 | 西村 正樹 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「糖尿病と認知症(久山町研究)」 九州大学大学院医学研究院 病態機能内科学 助教 | 平川 洋一郎 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「食事・運動を含めた認知症予防の取り組みについて」 島根大学医学部 環境生理学 特任教授 | 橋本 道男 先生 |
| 特別講演 | 「薬物によるフレイルと認知障害を防ぐ」 東京大学大学院医学系研究科 加齢医学講座 老年病学 教授 | 秋下 雅弘 先生 |

| 第 22 回中部 | 2018(平成 30)年 12 月 1 日 愛 | 愛知芸術文化センター |
|---------------------------------------|--|-------------------|
| 教育講演1 | 「プリオンとプリオン様タンパク質の伝播」 金沢大学附属病院 神経内科 講師 | 濵口 毅 先生 |
| 教育講演 2 | 「 認知症高齢者数の将来推計と地域包括ケアシステム」 名古屋大学医学部附属病院 老年内科 講師 | 大西 丈二 先生 |
| 特別講演1 | 「 認知症診療における認知症カフェの役割と今後への展望」 藤田医科大学医学部 認知症・高齢診療科 教授 | 武地 一 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病血液バイオマーカーの開発」 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所長 | 柳澤 勝彦 先生 |
| 第 22 回中・四 | 国 2019(平成 31)年 4 月 13 日 岡 | 別山国際交流センター |
| 教育講演1 | 「認知症臨床における阿部式 BPSD スコア (ABS) の有用性」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経内科学 講師 | 山下 徹 先生 |
| det de este Sula e | | |
| 教育講演 2 | 「アルツハイマー病のタウ病理と治療法開発」 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 寄附講座准教授 | 武田 朱公 先生 |
| 教育講演 3 | 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 | 武田 朱公 先生 川井 元晴 先生 |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 寄附講座准教授 「認知症の人の在宅支援ー認知症の人と家族の会」 | |

| 第 33 回中央 | 2019(令和元)年7月27日 ベルサール | ル飯田橋ファースト |
|---------------|--|--------------------|
| | | ア 以口1回ノノニクト |
| 地区推薦講演 1 | 「認知症の人の在宅支援ー認知症の人と家族の会」 山口大学大学院医学系研究科 臨床神経学講座 准教授 | 川井 元晴 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「レビー小体型認知症における脳血流変化と 精神神経症状との関連」 福岡大学医学部 精神医学教室 助教 | 飯田 仁志 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「iNPH と DLB の早期診断と治療」 大阪大学大学院 連合小児発達学研究科 行動神経学・神経精神医学寄附講座 教授 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 顧問 東北大学 名誉教授 | 森 悦朗 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「パーキンソン病の分子病態研究: 孤発性および遺伝性家系の病因解明に向けて」 東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座 神経内科学分野 准教授 | 長谷川 隆文 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「アミロイドクリアランス促進による認知症疾患修飾薬の開発 東京大学大学院薬学系研究科 機能病態学教室 教授 | 」 富田 泰輔 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「アルツハイマー病血液バイオマーカーの開発」 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 研究所長 | 柳澤 勝彦 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「アミロイドβとタウの相互作用について」 理化学研究所 脳神経科学研究センター 神経老化制御研究チーム チームリーダー | 西道 隆臣 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「Bassoon 遺伝子変異は一部のタウオパチー発症に関与する」 北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野 神経内科学教室 准教授 | 矢部 一郎 先生 |
| 特別講演 | 「認知症のゲノム解析:サイエンスから医療への転換」 新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター 教授 | 池内 健 先生 |
| 第 23 回北海道 | 2019(会和量)在 | E 10 月 5 日 ACU-A |
| - | | - 10 / 1 J H ACU-A |
| 教育講演 1 | 「高齢者てんかんと認知症との鑑別」 医療法人社団武蔵屋 上善神経医院 院長 | 伊藤 ますみ 先生 |
| 教育講演 2 | 「レビー小体型認知症の初期症状」 社会医療法人 母恋 天使病院 精神科 科長 | 山本 晋 先生 |
| 特別講演1 | 「うつと認知症」 佐賀大学医学部 精神医学講座 教授 | 門司 晃 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー型認知症の治療・予防」 札幌医科大学医学部 神経内科学講座 教授 | 下濱 俊 先生 |
| 特別講演3 | 「アルツハイマー病類似の非アルツハイマー型認知症と 認知症予防法の開発」 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 脳老化・神経病態学(脳神経内科学) 教授 | 山田 正仁 先生 |

| 第 23 回東北 | 2019(令和元)年 12 月 14 日 TKP ス | ブーデンシティ仙台 |
|-------------------|--|---------------------|
| 教育講演 1 | 「高齢者医療・地域医療に関する展望」 秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長・教授 | 大田 秀隆 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症患者・家族に対する服薬支援の方法」 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部 | 溝神 文博 先生 |
| 教育講演3 | 「 認知症の健康総合指標と高齢者総合機能評価」 東北大学病院 加齢・老年病科 院内講師 | 冨田 尚希 先生 |
| 教育講演 4 | 「 高齢者のうつ病の特徴と支援の重要性」 弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座 教授 | 井原 一成 先生 |
| 特別講演1 | 「これからの認知症予防」 鳥取大学医学部保健学科 生体制御学講座 教授 | 浦上 克哉 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病治療研究の将来と国際連携」 東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 教授 | 岩坪 威 先生 |
| | | |
| 第 23 回中・四 | 国 2021(令和3)年4月17日 かがわ | 国際会議場、Zoom |
| 第 23 回中·四 講演 1 | 国 2021(令和 3)年 4 月 17 日 かがわ 「生活習慣病と認知症:久山町研究」 九州大学病院 精神科神経科 診療准教授 | 国際会議場、Zoom 小原 知之 先生 |
| | 「生活習慣病と認知症:久山町研究」 | |
| 講演 1 | 「生活習慣病と認知症:久山町研究」 九州大学病院 精神科神経科 診療准教授 「地域における認知症診療」 山形大学医学部 | 小原 知之 先生 |
| 講演 1 講演 2 | 「生活習慣病と認知症:久山町研究」 九州大学病院 精神科神経科 診療准教授 「地域における認知症診療」 山形大学医学部 内科学第三講座 神経学分野(脳神経内科) 教授 「特発性正常圧水頭症診療の最近の進歩 一診療ガイドライン第3版の内容も含めて一」 | 小原 知之 先生 |

| 第 34 回中央 | 2021(令和3)年6月5日 都市セン | ターホテル、 Z oom |
|--------------|--|------------------------|
| 地区推薦講演 1 | 「フタロシアニンのアミロイドβ凝集抑制と モデルマウス脳病理改善効果について」 島根大学医学部 内科学講座内科学第三 教授 | 長井 篤 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「レビー小体型認知症の初期症状」 社会医療法人 母恋 天使病院 精神科 科長 | 山本 晋 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「Aβ病理を修飾する新規分子経路:プレシジョン医療に向けて 大阪大学大学院医学研究科 認知症プレシジョン医療開発学寄附講座 寄附講座教授 | 森原 剛史 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「 嗅覚識別テストによる認知症の早期発見」 久留米大学医学部 神経精神医学講座 講師 | 柳本 寛子 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「認知レジリエンス (cognitive resilience) のバイオマーカー」 東京慈恵会医科大学 附属第三病院 精神神経科 教授・診療部長 | 布村 明彦 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「認知症高齢者の健康総合指標と主観情報の効果的な活用」 東北大学病院 加齢・老年病科 病院講師 | 冨田 尚希 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「人生の最終段階における医療とケア」 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣講座 特任教授 | 会田 薫子 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「認知的フレイルとは?」 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 理事長 | 荒井 秀典 先生 |
| 特別講演 | 「認知症と神経変性疾患のバイオマーカー」 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医科学研究所 脳機能イメージング研究部 医長 | 徳田 隆彦 先生 |
| 第 23 回九州 | 2021(令和 3)年 9 月 25 日 Zoom (TKP ガーデンシラ | イ博多より配信) |
| 教育講演 1 | 「 嗅覚識別テストによる認知症の早期発見」 久留米大学医学部 神経精神医学講座 講師 | 柳本 寛子 先生 |
| 教育講演 2 | 「 <mark>認知症高齢者の口腔ケア」</mark> 福岡歯科大学 高齢者歯科学分野 教授 | 内藤 徹 先生 |
| 教育講演3 | 「認知症と高齢者てんかん」 国際医療福祉大学医学部 脳神経内科 教授 | 赤松 直樹 先生 |
| 特別講演 1 | 「アルツハイマー病の治療標的としての インスリンシグナリング」 愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学 教授 | 大八木 保政 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病の発症機構」 医療法人社団 慈誠会 認知症センター長/慈誠会記念病院 特 札幌医科大学 名誉教授 | ·任院長 下濱 俊 先生 |

| 第 23 回近畿 | 2021 (令和 3) 年 10 月 23 日 Zoom (TKP ガーデンシテ | ィ大阪梅田より配信) |
|---------------|--|---------------|
| 講演 1 | 「認知症の幻覚・妄想」 近畿大学医学部 精神神経科学教室 主任教授 | 橋本 衛 先生 |
| 講演 2 | 「てんかんと認知症の関連」 神戸大学大学院医学研究科 内科学講座 脳神経内科学分野 教授 | 松本 理器 先生 |
| 講演 3 | 「認知症プレシジョン医療の実現にむけて」 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 講師 | 森原 剛史 先生 |
| 講演 4 | 「認知症のエンドオブライフ・ケア -ACP のあり方」 東京大学大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター 上廣講座 特任教授 | 会田 薫子 先生 |
| 講演 5 | 「高齢者のポリファーマシー:フレイルと認知症への配慮」 東京大学大学院医学系研究科 老年病学 教授 | 秋下 雅弘 先生 |
| 第 23 回中部 | 2022 (令和 4) 年 1 月 29 日 Zoom (TKP ガーデンシティ PREMIUN | M名古屋新幹線口より配信) |
| 教育講演 1 | 「脳アミロイドアンギオパチー:最近のトピックス」 金沢大学附属病院 脳神経内科 講師 | 坂井 健二 先生 |
| 教育講演 2 | 「長期縦断研究と認知症」 名古屋学芸大学大学院 栄養科学研究科 教授 | 下方 浩史 先生 |
| 特別講演3 | 「タウ関連認知症疾患の病態について」 名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科 特任准教授 | 石垣 診祐 先生 |
| 特別講演4 | 「前頭側頭葉変性症の臨床」 藤田医科大学医学部 脳神経内科 教授 | 渡辺 宏久 先生 |
| 第 24 回北海道 | 2022(令和 4)年 3 月 26 日 Zoom (TKP ガーデンシテ | ィ札幌駅前より配信) |
| 教育講演 1 | 「認知症 - 日本学術会議の提言」 日本学術会議連携会員/北海道大学 総長 | 寳金 清博 先生 |
| 教育講演 2 | 「札幌市における認知症支援体制 - 現状と課題」 勤医協中央病院 名誉院長 | 伊古田 俊夫 先生 |
| 教育講演 3 | 「良い眠りが認知症を予防する」 くぬぎクリニック 名誉院長 | 功刀 弘 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病の疾患修飾薬の現状」 東京都健康長寿医療センター 脳神経内科 部長 | 岩田 淳 先生 |
| 特別講演 2 | 「加齢に伴う認知機能低下と認知症」 杏林大学医学部 高齢医学教室 教授 | 神﨑 恒一 先生 |

| 第 24 回東北 | 2022(令和 4)年 5 月 28 日 Zoom (TKP ガーデンシティ PREMIU | IM 仙台西口より配信) |
|-----------------------------|--|--------------|
| 教育講演 1 | 「住民コホート調査の認知症ゲノム解析」 東北大学東北メディカル・メガバンク機構 ゲノム解析部門 (兼務)大学院医学系研究科 神経内科学分野 助教 | 平良 摩紀子 先生 |
| 教育講演 2 | 「 多系統萎縮症の認知機能障害」 弘前大学大学院医学研究科 脳神経病理学講座 助教 | 三木 康生 先生 |
| 教育講演3 | 「Prodromal DLB の診断と治療」 山形大学医学部 精神医学講座 講師 | 小林 良太 先生 |
| 特別講演 1 | 「認知症への社会医学からのアプローチ -認知症初期集中支援チームの活動を通して-」 大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 | 池田 学 先生 |
| 特別講演 2 <体調不良の ため講演中止> | 「大規模脳画像データベースから見る脳の発達と加齢」 東北大学加齢医学研究所 臨床加齢医学研究分野 教授 | 瀧 靖之 先生 |
| 第 35 回中央 | 2022(令和4)年7月23日 都市セン | ターホテル、Zoom |
| 地区推薦講演 1 | 「アルツハイマー型認知症とてんかん」 上善神経医院 院長 | 伊藤 ますみ 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「認知症の言語症状」 足利赤十字病院 神経精神科 部長 | 船山 道隆 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「レビー小体型認知症のバイオマーカー:先制治療の開発」 名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 脳神経病態学 神経内科学 教授 | 勝野 雅央 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「BPSD への対応」 香川大学医学部臨床心理学科 精神医学 教授 | 角 徳文 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「 音楽療法はどれだけ有効か」 東京都立産業技術大学院大学 認知症・神経心理学講座 特任教授 | 佐藤 正之 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「初期の認知症患者の日常生活を支援するには?」 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授 | 木下 彩栄 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「連携型認知症疾患医療センターの役割と課題」 医療法人 湖山荘 あずま通りクリニック 院長 | 小林 直人 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「認知機能を維持する地域在住高齢者の特徴 一The KOCOA project の結果より一」 国立病院機構 沖縄病院 特命副院長(脳神経内科 部長 併任) | 渡嘉敷 崇 先生 |
| 特別講演 | 「認知症の臨床病理学:臨床病理学的表現型とその分子基盤」 国家公務員共済組合連合会 九段坂病院 院長/内科(脳神経内科) |) 山田 正仁 先生 |

| 第 24 回九州 | 2022(令和 4)年 10 月 8 日 Zoom (TKP 博多駅前シティセンターより配信) |
|--------------|---|
| 教育講演 1 | 「ものわすれ予防検診における単一「しりとり」課題中の 酸素化ヘモグロビンの変動:嗅覚障害と睡眠障害を踏まえて」 久留米大学医学部 神経精神医学講座 助教 久留米大学 高次脳疾患研究所 - 児玉 英也 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症診断における脳機能画像の役割ー特に SPECT を用いてー」 福岡大学病院 放射線部第二 教授 長町 茂樹 先生 |
| 教育講演3 | 「地域高齢住民における認知機能障害:脊振・吉野ケ里研究」 聖マリア病院 脳血管内科 |
| 特別講演 1 | 「認知症 DMT 時代を見据えた次世代型 PET 研究」 新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター 臨床機能脳神経学分野 教授 島田 斉 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病:疾患修飾療法の現状と展望」 金沢大学医薬保健研究域 脳神経内科学 教授 小野 賢二郎 先生 |
| 第 24 回近畿 | 2022(令和 4)年 12 月 10 日 Zoom (TKP ガーデンシティ大阪梅田より配信) |
| 講演 1 | 「認知症の分子病態に基づいた Biofluid biomarker と Digital biomarker の開発とその統合」 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 寄附講座准教授 武田 朱公 先生 |
| 講演 2 | 「米国でのアデュカヌマブの迅速承認と これからのアルツハイマー病治療法開発の戦略」 大阪医科薬科大学 薬学部 薬物治療学Ⅱ研究室 教授 福森 亮雄 先生 |
| 講演 3 | 「認知症初期集中支援チームにおける精神科医のかかわり」 公益財団法人浅香山病院 精神科 部長・ 認知症疾患医療センター長 釜江(繁信) 和恵 先生 |
| 講演 4 | 「認知症の患者の生活支援-IADL の視点から」 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 教授 木下 彩栄 先生 |
| 講演 5 | 「アミロイド抗体療法と脳アミロイド血管症(CAA)」 三重大学大学院医学系研究科 特定教授 済生会明和病院 病院長 富本 秀和 先生 |
| 第 24 回中部 | 2023 (令和 5) 年 2 月 25 日 Zoom (TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋ルーセントタワーより配信) |
| 教育講演 1 | 「加齢性難聴と認知症—海馬の役割に注目した難聴ケアの重要性」 愛知医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 特任教授 内田 育恵 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症入院患者のせん妄対策」 岡山大学病院 精神科神経科 助教 井上 真一郎 先生 |
| 教育講演 3 | 「認知症患者の家族介護者支援アプリ/"私の介護"開発の経緯と意義」 名古屋大学大学院医学系研究科 医療行政学 客員研究員 医療法人五一六五 ナゴヤガーデンクリニック 消化器内科部長 後藤 康幸 先生 |
| 特別講演1 | 「アルツハイマー病;抗 A β 抗体療法はどこまで進んできたか?」 金沢大学医薬保健研究域 脳神経内科学 教授 小野 賢二郎 先生 |
| 特別講演 2 | 「J-MINT 研究」 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 研究所長 櫻井 孝 先生 |

| 第 24 回中・四 | 国 2023(令和 5)年 5 月 20 日 Zoom (高松商工会 | 今業市トル配信) |
|-----------|--|----------------|
| | | 云哉りより昭治/ |
| 教育講演1 | 「脳ドックデータから見る脳卒中・認知症予防」 島根大学医学部附属病院 脳神経内科 講師 | 三瀧 真悟 先生 |
| 教育講演 2 | 「フレイル・サルコペニアと認知症予防」 愛媛大学大学院医学系研究科 脳神経内科・老年医学講座 准教授 | 越智 雅之 先生 |
| 教育講演3 | 「 認知症の疫学的検討」 川崎医科大学 認知症学教室 | 和田 健二 先生 |
| 特別講演1 | 「血管性認知症の病態・治療」 国立循環器病研究センター 脳神経内科 部長 | 猪原 匡史 先生 |
| 特別講演 2 | 「 脳循環代謝改善剤から抗認知症薬へ」 香川大学医学部 精神神経医学講座 教授 | 中村 祐 先生 |
| 第 36 回中央 | 2023 (令和 5)年7月22日 都市センタ | ーホテル、Zoom |
| 地区推薦講演 1 | 「小脳と認知機能」 横浜市立大学医学部 神経内科学・脳卒中医学 講師 | 東山 雄一 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「てんかんの外科治療法と認知機能障害」 札幌医科大学医学部 脳神経外科学講座 教授 | 三國 信啓 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「認知症の分子病態に基づいた Biofluid biomarker と Digital biomarker の開発とその統合」 大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 寄附講座准教授 | 武田 朱公 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「ABC 認知症スケールについて」 香川大学医学部 地域連携精神医学講座 准教授 | 森 崇洋 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「ウェアラブルデバイスを用いた認知症の予防研究」 大分大学医学部 神経内科学講座 准教授 | 木村 成志 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「YAHABA Study ーYahaba active aging and healthy brain studyー」 岩手医科大学 脳神経内科・老年科 教授 | 前田 哲也 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「認知症の人が生きている世界 -認知症未来共創ハブの活動から」 慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科 教授 | 堀田 聰子 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「認知症患者の家族介護者介護負担感軽減を目的としたアプリ開 その臨床試験の結果について」 名古屋大学大学院医学系研究科 医療行政学 客員研究員 医療法人五一六五 ナゴヤガーデンクリニック 消化器内科部長 | 発の経緯と 後藤 康幸 先生 |
| 特別講演 | 「高齢者の人権を守るために 一認知機能の低下に備える一」 | |

齋藤 正彦 先生

東京都立松沢病院 名誉院長

| 第 25 回北海道 | 2023 (令和 5)年 11 月 11 日 Zoom (TKP ガーデンシティ札巾 | 晃駅前より配信) |
|-----------|---|-------------|
| 講演 1 | 「 認知症の共通病態としての慢性炎症」 旭川医科大学医学部 精神医学講座 教授 | 橋岡 禎征 先生 |
| 講演 2 | 「てんかんと認知機能障害」 札幌医科大学 脳神経外科 教授 | 三國 信啓 先生 |
| 講演 3 | 「プリオン病の克服を目指して、新たなるステージへの挑戦!」 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻保健科学分野(脳神経内科学分野) 脳科学ユニット(ユニット長)教授 | 佐藤 克也 先生 |
| 講演 4 | 「認知症の病態における酸化ストレス」 東京慈恵会医科大学附属第三病院 精神神経科 教授・診療部長・認知症疾患医療センター長 | 布村 明彦 先生 |
| 第 25 回東北 | 2024(令和 6)年 2 月 17 日 Zoom(TKP ガーデンシティ PREMIUM | M 仙台西口より配信) |
| 教育講演1 | 「 <mark>認知症検出における IADL 評価の有用性」</mark> 岩手医科大学 脳神経内科・老年科 助教 | 赤坂 博 先生 |
| 教育講演 2 | 「東日本大震災被災者における認知症診療とケア」 東北医科薬科大学医学部 老年・地域医療学/総合診療科 助教 | 石木 愛子 先生 |
| 教育講演 3 | 「アルツハイマー病診療の進歩 -疾患修飾薬と血液バイオマーカーの登場ー」 東北大学加齢医学研究所 臨床加齢医学研究分野 准教授 東北大学病院 加齢・老年病科 科長 特命教授 | 中瀬 泰然 先生 |
| 特別講演 1 | 「認知症の誤嚥性肺炎とその予防・治療・リハビリテーション」 東北大学大学院医学系研究科 内部障害学分野 教授 | 海老原 覚 先生 |
| 特別講演 2 | 「これからの認知症医療を展望する」 新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター 遺伝子機能解析学 教授 | 池内 健 先生 |

| 第 25 回九州 | 2024(令和 6)年 5 月 18 日 Zoom (TKP 博多駅前シティセ | マンターより配信) |
|----------|--|------------|
| 教育講演 1 | 「地域高齢住民における 脳画像と認知症発症の関連:久山町研究」 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学教室 助教 | 中澤 太郎 先生 |
| 教育講演 2 | 「軽度認知障害と認知症に対する リハビリテーションのエビデンスと治療戦略」 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター リハビリテーション科 健康長寿支援ロボットセンター 認知症支援・ロボット応用研究室 医長・研究室長 | 大沢 愛子 先生 |
| 教育講演 3 | 「アルツハイマー病のバイオマーカー」 新潟大学 脳研究所 生命科学リソース研究センター 遺伝子機能解析学分野 助教 | 春日 健作 先生 |
| 特別講演 1 | 「高齢者の気分障害ー認知症性疾患との鑑別と関連性」 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 メンタルクリニック 教授 順天堂大学大学院医学研究科 精神・行動科学 教授 | 馬場 元 先生 |
| 特別講演 2 | 「 地域認知症コホート研究の最近知見:久山町研究」 九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授 | 二宮 利治 先生 |
| 第 37 回中央 | 2024(令和 6)年7月27日 都市セン | ターホテル、Zoom |
| 地区推薦講演 1 | 「Lewy 小体病にみられる Alzheimer 型認知症」 昭和大学医学部 内科学講座 脳神経内科学部門 主任教授 昭和大学病院附属東病院 病院長 | 村上 秀友 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「Psychiatric - onset DLB の臨床症状と診断」 山形大学医学部 精神医学講座 准教授 | 小林 良太 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「アルツハイマー病における 血液細胞外小胞バイオマーカーの開発」 北海道大学 産学・地域協働推進機構 認知症包括研究部門 特任准教授 | 湯山 耕平 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「日本食スコアと認知症:腸脳相関の視点から」 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター 客員研究員 | 佐治 直樹 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「海士町における疫学研究」 川崎医科大学 認知症学 主任教授 | 和田 健二 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「 鹿児島県における離島へき地の認知症」 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 精神機能病学分野 教授 | 中村 雅之 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「軽度アルツハイマー型認知症に対する 八味地黄丸の多施設共同研究」 富山大学学術研究部医学系 和漢診療学講座 教授 | 貝沼 茂三郎 先生 |
| 地区推薦講演8 | 「認知症の診断・治療薬開発の戦略」 大阪医科薬科大学 薬学部 薬物治療学Ⅱ研究室 教授 | 福森 亮雄 先生 |
| 特別講演 | 「幸せに年齢を重ねるためには」 慶應義塾大学予防医療センター 特任教授 慶應義塾大学 名誉教授 | 三村 將 先生 |

| 第 25 回近畿 | 2024(令和 6)年 10月 26日 Zoom (TKP ガーデンシティ大阪梅田より配信) |
|----------|---|
| 講演 1 | 「Prodromal 期からのレビー小体型認知症の臨床」 大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授 鐘本 英輝 先生 |
| 講演 2 | 「血液バイオマーカーの発展」 国立長寿医療研究センター バイオマーカー開発研究部 部長 中村 昭範 先生 |
| 講演 3 | 「認知症神戸モデルの現状と課題」 神戸大学大学院保健学研究科 リハビリテーション科学領域 脳機能・精神障害学分野 教授 古和 久朋 先生 |
| 講演 4 | 「アルツハイマー病の疾患修飾療法」 東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 教授 岩坪 威先生 |
| 講演 5 | 「認知症研究のあゆみと展望ー本研究会 25 回をふりかえって」 大阪河崎リハビリテーション大学 学長 仁明会精神衛生研究所 所長/大阪大学 名誉教授 武田 雅俊 先生 |
| 第 25 回中部 | 2025 (令和 7) 年 2 月 8 日 Zoom (TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋駅前より配信) |
| 教育講演 1 | 「一見認知症のようにみえる高齢者の発達障害とは」 熊本大学病院 神経精神科 特任助教 熊本県発達障がい医療センター長 佐々木 博之 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症の人に求められる施策」 大阪公立大学大学院 生活科学研究科 認知症ケア・施策学講座 特任教授 中西 亜紀 先生 |
| 教育講演3 | 「健診データの AI 解析による認知症発症リスクの 早期発見と個別的食事運動指導」 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任研究員 酒谷 薫 先生 |
| 講演 | 「中部老年期認知症研究会を振り返って」 学校法人愛知医科大学 理事長 祖父江 元 先生 |
| 特別講演1 | 「抗 Aβ 抗体療法の現状と展望」 金沢大学医薬保健研究域 脳神経内科学 教授 小野 賢二郎 先生 |
| 特別講演 2 | 「アルツハイマー病の疾患修飾薬治療開発 (disease-modifying therapy)の今後の展望」 東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 教授 岩坪 威 先生 |

| 第 25 回中・四 | 国 2025(令和7)年6月7日 Zoom (サンポートホー | ル高松より配信) |
|-----------|---|----------|
| 教育講演 1 | 「脳ドックデータから考える認知症スクリーニングおよび、 "CADi2"などのアプリ活用の将来性」 島根大学医学部 内科学講座内科学第三 助教 | 岩佐 憲一 先生 |
| 教育講演 2 | 「認知症・せん妄サポートチームにおける薬剤師の役割」 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室 | 天白 宗和 先生 |
| 教育講演 3 | 「認知症予防の最新情報 ~とっとり方式認知症予防プログラムも含めて~」 鳥取大学医学部 保健学科 生体制御学講座 講師 | 河月 稔 先生 |
| 特別講演 1 | 「認知症予防を目指した多因子介入のエビデンスと 社会実装に向けたとりくみ」 神戸大学大学院保健学研究科 リハビリテーション科学領域 脳機能・精神障害学分野 教授 | 古和 久朋 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症の未病診断と脳ドック」 三重大学大学院医学系研究科 特定教授 済生会明和病院 病院長 | 富本 秀和 先生 |

| | ИТДОМИНИТЕ ИЗМИХ | 田本为和九工 |
|----------|---|------------|
| 第 38 回中央 | 2025(令和7)年7月26日 都市センタ | ターホテル、Zoom |
| 地区推薦講演 1 | 「アルツハイマー病における細胞外小胞カテプシンBの発見」 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 認知症科 部長 認知症疾患センター センター長 | 井桁 之総 先生 |
| 地区推薦講演 2 | 「多診療部門連携による軽度認知障害診療の試み」 北海道大学病院 軽度認知障害センター 講師 | 岩田 育子 先生 |
| 地区推薦講演 3 | 「認知症神戸モデルの現状と課題」 神戸大学大学院保健学研究科 リハビリテーション科学領域 脳機能・精神障害学分野 教授 | 古和 久朋 先生 |
| 地区推薦講演 4 | 「 地域医療、災害医療における認知症」 東北医科薬科大学医学部 老年・地域医療学 総合診療科 教授 | 古川 勝敏 先生 |
| 地区推薦講演 5 | 「プリオン病の治験に向けた新規プリオン病診断基準の意義」 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 医療科学専攻保健科学分野(脳神経内科学分野) 脳科学ユニット(ユニット長)教授 | 佐藤 克也 先生 |
| 地区推薦講演 6 | 「臨床的徴候"head-turning sign"と"Neucop-Q"による 簡単な質問でアミロイドβ病理を予測できるか?」 済生会横浜市東部病院 神経内科 部長 横浜市認知症疾患医療センター(済生会横浜市東部病院) センター長 | 伊達 悠岳 先生 |
| 地区推薦講演 7 | 「iNPH に対する鑑別・併存診断と診療連携 -2 つの全国調査の結果も含めて一」 高知大学医学部 神経精神科学講座 教授 | 數井 裕光 先生 |
| 地区推薦講演 8 | 「フレイルな高齢者における認知症診療」 名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学 教授 | 梅垣 宏行 先生 |
| 特別講演 | 「 地域認知症コホート研究の最新知見:久山町研究」 九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学分野 教授 | 二宮 利治 先生 |

| 第 26 回北海道 | 2025(令和 7)年 10 月 25 日 Zoom (TKP ガーデンシティ村 | . 幌駅前 | آより配信) |
|-----------|--|------------|--------|
| 教育講演 1 | 「認知機能低下に影響を与える薬物 - 抗コリン薬リスクスケー 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 薬剤部 長寿医療研修部 高齢者薬学教育研修室長 | -ルを中 溝神 | 心に」 |
| 教育講演 2 | 「認知症疾患医療センターの現状と展望」 独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター 臨床研究部 部長 | 新野 | 正明 先生 |
| 教育講演 3 | 「認知機能低下と口腔の関係」 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室 教授 | 渡邊 | 裕 先生 |
| 特別講演 1 | 「高齢社会におけるひきこもりの現状と課題」 北海道大学大学院医学研究院 神経病態学分野 精神医学教室 教授 | 加藤 | 隆弘 先生 |
| 特別講演 2 | 「認知症の行動・心理症状に対する包括的治療」 高知大学医学部 神経精神科学講座 教授 | 數井 | 裕光 先生 |